

起因物、事故の型：その他の環境等 - 転倒の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	業種小コード	労働者規模
1	19～20	倉庫の出入口の階段を荷物（冷凍商品15kgぐらい）を持って下りる際に、階段が凍っていて滑って転倒し、階段を転げ落ち（4段位）、持っていた荷物を足に落としてしまい、右足の腓骨を骨折した。	39	80401	100～299
1	18～19	会社構内にて車輛の洗車中、足を滑らせ転倒した際に左手をつき、翌朝に左肩の痛みが大きくなり、左肩腱板剥離と診断された。	54	40301	100～299
1	13～14	出勤時に立体駐車場屋上に車を駐車し、車を降りて歩こうとしたところ、雪が溶けかけている地面で足を滑らし、転ばないように体を捻って耐えようとしたが耐えられなく、右半身から地面につく状態で転倒してしまった。	52	140309	1～9
1	13～14	道の駅の身障者駐車場横で、ハンドラッセルを使い除雪作業をしていたところ、地面がアイスバーンになっていたため足を滑らせ転倒し、右手をついた。	62	170209	10～29
1	13～14	当該乗務員は、出番日において、会社に帰庫し、営業車の洗車をしたあと、洗車場内にあるトイレに行こうと歩行していたところ、凍結路面に足を滑らせ転倒し、背部を強打して負傷した。	56	40201	500～999
1	11～12	作業場のゴミの入った袋を、1m程離れた場所にある別棟のゴミ庫に捨てるために外に出て、数センチ程積もっていた雪を足で払った際、滑って転んだ。その際に肩を打ち、痛みは無かったので休憩に入り作業に戻ったとき、肩が上がりづらかった。	68	10109	100～299
1	11～	出勤時に従業員入口に小走りで向かっていた際、靴底に付いた雪で道路	25	80201	50～

	12	にて転倒し、腰を床に打った。			99
1	10～ 11	東駐車場出入口で、ツルハシで氷割作業中、足を滑らせバランスを失い転んだ。その際に左手を氷の突起部に突き、左手首付近に痛みと腫れが生じた。	66	120109	1～9
1	8～9	出勤時、契約駐車場に車を止め事業所に行く途中で転倒する。駐車場内は、前夜に雪が降り、氷結路面に雪がある滑りやすい状況だった。	49	130201	—
1	1～2	乗務終了後、会社車庫洗車場にて、営業車の洗車及び車内清掃をしている途中、洗車機のスプレーガンをもった状態で、場内床凍結部分に滑って転倒し、右胸部分を強打して負傷した。	66	40201	30～ 49
1	16～ 17	被災者は、交差点の横断歩道にて、路面が凍結していたため尻もちをつく形で転倒し、左手をついた際に骨折した。	70	170209	—
1	15～ 16	作業後、別棟にあるトイレで用を済ませて作業場所に戻る時に、足を滑らせて仰向けに転倒し、右手をついて右手首を骨折した。当時は凍結した地面に少量の雪が降り、滑りやすい状況だった。	47	150102	30～ 49
1	14～ 15	作業後、工業敷地内の外のゴミ捨て場へゴミを捨てようとしたとき、凍結していたため足を滑らせて転び、右肘を強打した。	51	10102	10～ 29
1	13～ 14	当社店舗駐車場内に於いて、除雪作業を行っていた際、スコップを所持して移動したところ凍結した地面に足を滑らせて転倒し、左側の頭部と肩を地面に強打したものである。直後の痛みは治まったものの、当日は早退して安静にし、翌日に具合が悪化した。	42	80209	—
1	11～ 12	荷物配達時、前日に降った雨で凍っていた地面に足を滑らせ転倒し、左足を骨折した。	44	80109	—
1	10～ 11	会社内の分別作業場にて作業をしようと歩いていたところ、足元が凍っていたため足をとられ、地面に背中を打ってしまい、背骨を損傷した。	61	40301	30～ 49
1	9～ 10	路上で荷下ろしの順番待ちのため、積荷の確認をしようと運転席を降りて荷台に移動する際、凍結した路面で両足を滑らせ宙に浮いた状態になり、右の側頭部及び肩から地面に倒れて骨折した。	61	40301	50～ 99

1	8~9	職員駐車場に車を止め、職員玄関に向かう途中、正面玄関前にて氷に足を滑らせ仰向け状態に転倒し、頭部を強打する。その他に尻を強打しており、当日に痛みはなかったが、翌日に腰部痛が発生し、尾骨骨折だと分かった。	56	130101	100 ~ 299
1	7~8	会社の駐車場で、車に積んでいたポリタンクを工場前に運ぶため、車を移動しようと乗り込もうとしたところ、足元の雪で滑りバランスを崩し、車の扉に右胸を強く打ちつけ転んだ。	27	11209	—
1	5~6	当社土場にてトラックに乗り込むとき、路面が凍っており足を滑らせて転倒した。転倒する瞬間に体を支えるため反射的に両手をつき、両手を負傷した。負傷当日は大した事はないと思ったが、痛みが治まらず、骨折していると分かった。	32	40301	10~ 29
1	4~5	朝刊配達中、凍結した路面で足を滑らせ転倒し、左手を着いた際にその衝撃で左手首にひびが入った。	76	80205	100 ~ 299
1	3~4	配達先のポストに朝刊を投函する際、当時日中は暖冬で路面が凍結している状況を把握しながらも、足が滑り転倒し、肩と頭を打つケガをした。そのあと散歩を終えて自宅に戻り、体調に異変を感じたので処方された薬を服用していたが、翌日には体を起こすことができず、足も動かなくなった。	68	80205	—
1	1~2	給油するためスタンドに寄り、給油中に営業車を降りてトイレに行く際に路面が凍っており、足元が滑って転倒し、頭部を強打した。	55	40201	100 ~ 299
1	17~ 18	従業員出入口から敷地内の駐車場へ向かう際、玄関から2~3m歩いた時点で足がもつれて前のめりに転倒し、右側前頭部をアスファルト上に強打した。	71	80209	10~ 29
1	7~8	出社時、会社東の従業員入口で鍵を開けようとしていたところ、凍結した足元に足を滑らせた。地面に対して左向きに仰向けの体勢で転倒し、地面に左手首をつき骨折した。	61	10109	1~9

1	21～ 22	アイスホッケー場の散水作業を終え、散水用のホースを畳み、いつも保管してある管理棟へしまいに行く途中、管理棟が少し下った所にあり坂になっているため滑って転倒し、左足の踝を骨折した。	71	130201	10～ 29
1	18～ 19	当日の運行を終え、営業所に戻り車内金庫の売上金を納金した後、車内金庫をバスに戻そうと外に出たところ、営業所の玄関先で凍結路面に足を滑らせ転倒し、右手に持っていた金庫を放してしまい、宙に浮いた金庫が右腕に落下し負傷した。	47	40202	100 ～ 299
1	18～ 19	会社の敷地内にある倉庫へゴミを置きに移動中、地面が凍っていたため滑り転倒し、左腕を痛めた。	27	130201	1～9
1	17～ 18	退社時、会社駐車場で自分の車へ歩いている時に、外気温が上昇して溶けた雪が凍り、滑りやすい状態だったため転倒し、倒れた際に右手で体を支え、右手首を骨折した。	52	10109	50～ 99
1	17～ 18	仕事を終え駐車場に向かっている際、凍った路面に足を滑らせ、転倒し被災した。	59	10103	300 ～ 499
1	16～ 17	2F事務所で頭を抱えており、社員が異変に気付き、救急車を呼んだ。後で本人から聞いた話では、朝、店舗前の雪かきの時に滑って転んだとのことである。	48	80209	10～ 29
1	14～ 15	送迎バスを運転するためバスに乗ろうとした時、路面が凍っていて滑り、転倒した際に車のタイヤハウスに右脇腹を強打した。	60	10102	10～ 29
1	11～ 12	バス車両に乗り込むときに、左足をステップ一段目にかけてところ、右足を内側に滑らせ、そのまま体の右側面を氷面に叩きつけ、体と氷面に右手を挟んでしまい受傷した	50	40202	100 ～ 299
1	11～ 12	新築工事にて、屋内で作業を行った際に出たゴミを外へ出しに行き、再び屋内に入ろうとした玄関先で滑って転倒をし、左わき腹を打った怪我を負った。	65	30209	1～9
	11～	雑誌の配達中、車から降りた際に凍った地面に足を取られ、左足が滑っ			

1	12	て転倒し、左肩を強打した。	67	80201	1～9
1	11～ 12	無線配車のお客様お迎えの際、凍結路面のため滑って転びそうになり、 右手ついたところ右手首を痛めた。	60	40201	100 ～ 299
1	8～9	デイサービス利用者宅の玄関前スロープで、送迎時に地面の氷に足を滑 らせ転倒した。転倒の際に左足が内股になり、足首の内側を氷にぶつけ た瞬間にくるぶしに痛みが出現し、足をつくことが困難になった。	54	130201	—
1	7～8	通勤完了後、法人敷地内にマイカーを駐車し、施設内へ入ろうとして社 用車駐車場所を通ったところ路面が凍結しており、足を滑らせて転倒 し、右足首を捻り、頭部を社用車にぶつけた。	30	130201	100 ～ 299
1	5～6	徒歩で朝刊を配達中、外の階段を下りている際に、雪で凍結した階段で 足を滑らせて転倒し、背中を強く打ち、背骨を骨折した。	27	80205	—
1	0～1	構内の踏切で踏切監視業務を行っていた際に、踏切に接近した乗用車に 迂回要請を行うため、小走りで近づいた際、道路路面が凍結した状態で あったため、滑って転倒し、後頭部を道路路面に打ちつけて受傷した。	35	40101	30～ 49
1	19～ 20	勉強会終了後、帰宅途中に路面凍結のため転倒してしまい、右手を地面 についた時に手首を捻挫してしまった。	52	80109	10～ 29
1	18～ 19	帰宅のため職員玄関を出て歩行し、4m時点で右足から滑り、バランスを 崩し転倒し、臀部を強く打ち仰臥位に倒れた。しばらく（3分位）動け ず倒れていたが、何とか自立で起き上がり歩行して帰宅した。地面の状 況は、暖気で水たまりの下がアイスバーンの状態であった。そのあと自 宅に戻り、痛みで動けなくなった。	46	130101	—
1	17～ 18	就労後、工場駐車場に止めてある自家用車に乗車するため、敷地内の駐 車場を歩行中、足を滑らせて左臀部および左大腿部を強打した（左股関 節ヒビ、軟骨の先端欠損）。	27	10109	500 ～ 999
1	17～	派遣先からの退社時に、自家用車に乗車するため敷地内の駐車場を歩行 中、足を滑らせて左臀部および左大腿部を強打した（左股関節ヒビ、軟	27	170101	—

	18	骨の先端欠損)。			
1	17~ 18	コンクリート製造工場内で、コンプレッサーの電源を切るために移動中、床(土場)に氷が張っていたため足を滑らせ、臀部と左手を床(土場)について転倒し、左手を負傷した。	66	10901	1~9
1	16~ 17	店舗裏の氷(高さ約3m、幅約5m、厚さ、約30cm)撤去作業中、かけやを使用して横から砕いていき、残り約1.3mのところ屋根から落下した氷が脚立に当たり転倒し、その際に氷に挟まれ負傷した。	56	30199	—
1	15~ 16	資材センター内で、加工ドーム内から戸外へ資材片付作業に出たところ、ドーム出入り口の少し勾配のところ、凍結により滑って足元をとられ、左側に倒れた。その時に左手が地面につき、左殿部を強打した。	69	30209	50~ 99
1	11~ 12	自社加工場内で資材の氷取り作業中、足元の氷に足を滑らせ転倒し、右人口股関節の周囲を骨折した。	55	30199	10~ 29
1	7~8	廃ダンボールを所定の場所へ捨ててに行った時に、地面が乾燥面と凍結面が混在した場所でダンボールを捨てたあと横転し、脛から着地した。	66	80209	10~ 29
1	5~6	会社車庫内にて休憩室に戻る途中、路面の凍結により転倒した。	73	40201	50~ 99
1	5~6	朝刊を配送中、路面が凍結していて転倒し負傷した。	55	80205	50~ 99
1	8~9	歩道を勤務移動中に足を滑らせ転倒し、左足くるぶしを骨折し、靭帯損傷した。	32	90101	30~ 49
1	8~9	職員玄関まで歩いている途中、病院建物1Fの連絡通路が凍っていて気をつけて歩こうと思い、右足を出したときに滑って体が浮いた様になり、右側から落ちて地面に叩きつけられ、骨折した。	58	130101	100 ~ 299
1	7~8	会社の北側駐車場で、出勤のため車を駐車し降りてから、雪が降っていたため、車のワイパーを上げようとして路面が凍結している事に気づかず滑って転倒し、左手を骨折した。	56	80109	300 ~ 499

1	0～1	商品の受け入れと保管、仕分けをする倉庫前で敷地を照らす照明の点灯スイッチを入れるために歩行中、凍結していたため滑って転倒し、後頭部を地面に打ち負傷した。	78	80109	10～ 29
1	20～ 21	お客様宅を訪問しようとして道路を歩いていたところ、滑って転んで骨折した。	56	90103	30～ 49
1	8～9	入社時、会社の駐車場に到着して、自家用車から降車直後に路面が凍結し足を滑らせ後方に転倒し、頭を打って出血し負傷した。	68	40201	100 ～ 299
1	5～6	新聞配達中、配達先で新聞受けに新聞を入れ、車に戻ろうとした際、通路が下り坂で凍っていたため気をつけて歩いていたが、滑って転倒し負傷した。	61	80205	30～ 49
1	18～ 19	会社の駐車場で、帰宅するため自家用車に乗ろうとして車と車の間が雪で氷り盛り上がった部分で滑り、転倒した。	54	80409	—
1	18～ 19	帰宅のため職場の玄関を出て敷地内の駐車場へ行く途中、凍結した路面で滑って転び、左膝を路面に強く打った。	66	130201	50～ 99
1	17～ 18	当社工場での勤務を終え、タイムカードを打刻するため事務所に向かう途中の道路（約70メートル）が滑りやすかったため、後ろ向きに転倒し、後頭部を強打した。	52	11701	10～ 29
1	10～ 11	銀行へ両替業務をしに行ったが、その駐車場を歩いている時に地面が凍っていたため、その氷で滑って転んでケガをした。	48	140309	30～ 49
1	17～ 18	第1工場の外に止めてあった車を工場内に入れるため、工場の扉から外に向かって歩いていたところ、道路が凍結していたため滑って転倒してしまい、左足の脛2本を骨折した。	59	11209	10～ 29
1	8～9	当社支店敷地内において、出勤してきた被災者が車から降りる際、凍りついた車のステップで足を滑らせ転倒し、尻を地面に打ちつけ負傷した。	68	80209	—
		工場敷地内の駐車場から従業員玄関へ徒歩で移動しているとき、雪道で			

1	8～9	右足が滑り、左足で支えようとしたところ左足も滑り、足先が外に向けてそのまま転倒した。大型の除雪車（ブルドーザー）で除雪した雪道が、所々滑りやすくなっていた。	41	11403	50～ 99
1	23～ 24	問屋町にある物流センターへ製品を納品するため、トラックから降りてセンターの倉庫へ歩いていたら、凍結した路面に滑り、転倒した際に左足を負傷した。	61	10104	300 ～ 499
1	10～ 11	午前の休憩時間に喉の渇きを覚えたので、事務所棟に隣接する倉庫内に設置してある自動販売機で飲物を買うため、事務所棟を出て倉庫に向かって敷地内を歩いていたところ、積雪の雪で左足が滑りそのまま左側に転倒し、左足関節果骨を骨折した。	33	80109	—
1	8～9	上司の指示により簡単な雪片付けをしたあと、別の雪はねの道具を取りに事務所に向かい、その後、事務所職員用として借りている駐車場まで歩行し、その駐車場わきで、路面が凍っていることに気がつかず、不注意で滑り、背部より転倒し負傷した。	57	130201	—
1	8～9	構内駐車場に車を止めて、従業員玄関前を歩行中に、凍った路面に足を滑らせ転倒し、臀部を強打し、骨盤を骨折した。	58	11403	100 ～ 299
1	8～9	ホール清掃業務終了後、帰宅するため駐車場に停めていたマイカーまで小走りで移動中、凍結した路面で滑り転倒し、左手首を骨折した。	56	150101	1～9
1	8～9	会社敷地内の従業員用駐車場に自家用車を駐車して、出社しようと車から降りようとしたところ、地面が凍結していたため足が滑って転倒し、左ひじを負傷した。	29	80209	10～ 29
1	7～8	工場へ出勤しようと入口に向かっているときに滑って転び、左手首を痛めた。	61	10104	50～ 99
1	21～ 22	PETボール投入口にて、PETボールの結束材を取り外し、階下のフレコンに入れようと金属製の階段を下りる途中、階段が水で濡れていて足をすべらせ階下に落ちる際に左下肢を捻った。	40	11209	100 ～ 299

1	15～ 16	当自動車教習所の練習コース内において、教習開始前のコース点検中、雪道路面に足を滑らせ転倒し、頭部と脇腹を痛打した。	54	120101	50～ 99
1	15～ 16	灯油の配達先ですべて転倒して、背中から脇腹にかけて強打した。	67	80204	10～ 29
1	14～ 15	屋外駐車場にて、車から降りて3、4歩で右足が雪に滑りバランスを崩し、更に着地した左足も滑ったことで転倒し、右手に全体重をかけたため負傷した。	59	170209	1000 ～ 9999
1	7～8	駐車場に車を駐車し、キャンパス内を職場のある建物に徒歩で向かっていたとき、途中の通路が凍結していたため、誤って滑ってしまい転倒した。その際、手をついたため手に負担がかかり、骨折してしまった。	58	80209	300 ～ 499
1	10～ 11	ゴミ集積所でゴミ収集作業中、路面が凍結していて、足を滑らせ転倒した際に左足を負傷した。	40	150109	—
1	20～ 21	風呂の栓を確認作業中、大浴場の露天風呂の栓を確認しようと、風呂の縁が凍っているのに気付かずに縁へ上がり、滑って浴槽の内へ転げ落ちてしまい、右手をついたために右手に全体重がかかってしまった。	72	150101	1～9
1	13～ 14	事務業務中、印紙の購入のため支局から徒歩で郵便局へ行くために外出した。郵便局へ向かう途中の路上で、積もって凍っていた雪によって右足を滑らせ、右前方へ転倒し右手首を痛めた。	58	150101	10～ 29
1	7～8	始業点呼を受けたあと始業点検を終え、洗車機に止めて右足から降車する際に、洗車機内凍結していたため滑り足をとられ転倒し、顔面を洗車機移動レールに強打した。	68	40202	100 ～ 299
1	7～8	朝出勤し、会社の駐車場から自分の作業場である第2工場に向かうため会社構内を歩いていた際、食堂脇を通ったとき氷で滑って尻もちをついてしまい、右側大腿部を骨折してしまった。	68	10109	100 ～ 299
1	9～ 10	道路上にて停車し、車両左側のスライドドアを閉め、車両の前を通過して運転席に戻ろうとしたが、その途中の助手席辺りのカドを曲がろうとしたところで凍結しており、足を滑らせて転倒した。	60	130201	50～ 99

1	14～ 15	地区保管現場において、トラック車両の誘導中、地面に残っていた雪に足を滑らせ、そのまま後方に転倒し、骨盤を骨折した。	63	170201	10～ 29
1	8～9	ゴミ収集の為、敷地内のゴミ収集所に向かおうと産廃車から降車して同敷地内を歩行中、凍結していた路面上で足を滑らせ左向きに転倒し、その後、徐々に左足が痛み出してきた。事業所側の安全教育不足や、被災者自身の注意不足等が原因で事故が発生した。	47	40301	10～ 29
1	7～8	当日、車で会社に出勤し、会社内の駐車場に車を置き移動した時、路面が凍結しており、つまずいたため前のめりに転倒し、右脛を思い切り強打した。	64	11209	1～9
1	9～ 10	雪を払うために歩いていたところ、アスファルト脇に凍結したところがあり転倒した。その際、農業用草けずり（長柄約120cm）を持っていたため、左手首をねじり骨折した。	63	30199	1～9
1	19～ 20	コンビニエンスストア駐車場にトラックをとめ、店内に向かう途中で足を滑らせ転倒した。右足首付近に激痛があり、歩くことも困難になり、右足首の骨折が判明した。事故当時は駐車場内が全面凍結しており、滑りやすい状況であった。	44	40301	10～ 29
1	18～ 19	終業後に本社のゴミ集積場へゴミを持って行き、ごみを入れて車に戻る際、駐車場で車止めの影にあった雪が解けて再び黒く凍っていたところに、うす暗い事もあり気付かずに滑って転んで右足首を骨折した。	59	80209	1～9
1	18～ 19	サービスカウンターからレジに向かう途中で、サッカー台で商品を買物袋に入れているお客様の足に接触、転倒し、上半身を床に打ち付けてしまい、その際に左上腕部脱臼骨折と右手関節部を打撲してしまった。	61	80209	30～ 49
1	14～ 15	地籍簿作成業務の測量作業中、測量器機を両手で抱えて移動していた際、足元の蔓に足を引っかけてしまい転倒し、測量器機を抱えていたため手をつくことができず、地面に腰を打ちつけてしまい負傷した。	73	170209	50～ 99
1	22～ 23	派遣先にて就業を終え同じ敷地内にある寮へ帰る途中、周辺が暗かったため足元の雪につまずき、足を捻り転倒してしまった。	26	140101	50～ 99

1	8~9	高速道路にて、左足を雪で滑らせ、右手・右足で打って痛みが発生し、その後、骨折をしていることが分かった。	52	40309	30~ 49
1	11~ 12	事務所前の道に設置してあった看板が、風で倒れて、事務所に車が入ってくるのに邪魔なので、その看板をどかさうと、看板を持ち上げたところ、急に突風が吹き、看板ごと吹き飛ばされて転倒し負傷した。	63	170209	1~9
1	19~ 20	業務出張にてガイダンスに参加した後、宿泊先ホテルへ向かう途中、交差点にて凍結した路上で転倒し、右手首骨折と診断され、骨折した右手首が通常位置からずれているため手術することになった。	59	120109	1~9
1	15~ 16	請負先において、第2ローリー場タンクローリー受け入れ作業終了後、該当バルブの閉止作業中に強風にあおられ転倒し、配管の間に右足を挟み骨折した。	52	80401	10~ 29
1	8~9	出勤時、社員玄関前の一部凍結した歩道で転倒し、左足大腿部を骨折した。	58	10102	300 ~ 499
1	9~ 10	朝、通勤で（車）駐車場に着いて、車を降りドアを閉めた時足元が凍っていたため滑り転倒し、左手を着いたため手首を骨折した。	59	140209	—
1	8~9	被災労働者が出勤のため、勤務先の駐車場に車を止め建物へ向かって歩いていたところ、敷地内の通路が凍結していたことに気付かず、誤って足を滑らせ転倒した。その際、横向きに転倒して左の腰のあたりを路面に強打した。	58	140209	1~9
1	8~9	病院敷地内（駐車場）で雪かきをしていたところ、地面凍結している箇所があり、滑って転倒し、右手首をつき骨折した。	53	130102	—
1	7~8	職員玄関より出て、送迎に使用する車を駐車場までとりに向かう途中路面が凍結しており、滑って転倒した。	42	130201	100 ~ 299
1	5~6	被災労働者は、新聞配達するため玄関前を歩いていたら凍結路であったため転倒し右腓腹筋々膜を損傷する負傷をした。	49	80205	50~ 99

1	11~ 12	110ccの二輪車で配達先へ向かう途中で、圧雪の上に新雪が積もった状態の道路を時速10~15kmで直進していた。直進中に前輪がスリップしバランスを崩して右側へ二輪車ごと転倒し、その際、元々痛めていた右足が地面と二輪車に挟まれ負傷した。	54	110101	100 ~ 299
1	9~ 10	新築工事現場で、廃棄物を外へ運搬時、玄関外のステップが凍結していたことにより、足を滑らせ、踏みとどまった時に右膝を痛めた。	25	30202	—
1	8~9	老人保健施設前の駐車場で送迎車輛を出す準備をしている時に一台目にキーをつけ、二台目にキーをつけるため、車の後ろを通った際に地面が凍結しており、左足が前に滑り、右足を内側に捻るような感じで右膝を地面についた。	59	130201	100 ~ 299
1	3~4	新聞配達途中、凍結していた段差に足を滑らせ転倒した。その際に右足首と右膝に擦過傷を負い、右足関節を骨折した。	68	80205	
1	8~9	出勤時敷地内に凍結箇所があり、足を滑らせ転倒し、手をついた際に骨折した。	66	170209	—
1	8~9	敷地内駐車場から施設への移動時、凍結した地面で滑って転倒し、第一腰椎椎体骨折を負った。	36	130201	—
1	4~5	読者宅に新聞配達している際、路面が凍結しており、後方に転倒し、腰部を強打し負傷したもの。	74	80205	—
1	11~ 12	取引先へ配達中、路面が凍結している事に気が付かず、誤って足を捻って転倒し、左足首（くるぶし部分）を骨折した。	44	11109	10~ 29
1	11~ 12	営業活動時（歩行中）に、道路にて、路面凍結により転倒し、後頭部を打ち、出血を伴う怪我を負った。	67	170209	30~ 49
1	9~ 10	駐車場に車を止めて病院敷地内を歩いていたら、地面が凍結していて滑って膝をついて受傷した。	60	130101	
1	8~9	朝出勤し、駐車場に車をとめ仕事場まで歩いている時、玄関前が凍っていて足元が滑り転倒し、右手を地面について負傷した。	55	130201	—
		新聞配達中、道路が凍結していた為誤って転倒し、前頭部側頭部に脳内			10~

1	4~5	出血があり、入院となった。	64	80205	29
1	4~5	夜勤の休憩時間、駐車場より戻ろうとした際、前日より路面が凍結していたが、放射冷却により更に凍結し、滑り易い状態となっていた。また、照明があるものの夜間で暗く、凍結状況の確認が困難等の条件が重なった為、足を滑らせ、仰向けに転倒し、右後頭部を凍結路面に強打し、クモ膜下出血を負った。	54	10802	100 ~ 299
1	2~3	当社新聞配達先のお客様宅の敷地内に於いて、地面が凍結していたため転倒し、頭を強く打ち負傷した。暗かったこともあり地面が凍結していることがわからなかった。	49	80205	—
1	20~ 21	業務を終えて帰宅する為に駐車場内を歩行している際、凍結した路面で滑り転倒して右足関節外果骨折をした。	51	11209	100 ~ 299
1	10~ 11	得意先にて集荷作業のため歩行中、雪により足場が悪く、転倒した際、左手を地面についたため負傷した。	30	40301	10~ 29
1	7~8	作業現場にて、早朝であり、入口に積雪がありその上を歩いたら滑って尻もちをついた。当初はすぐに治るだろうと思い、そのまま仕事を続けたところ、痛みが増していった。	67	170201	100 ~ 299
1	7~8	出勤時、店舗駐車場を店舗入口に向かい歩いていた時、道路が凍結していた為、滑り転倒する。転倒した際、頭を打つが勤務に就こうと準備中、気分が悪くなり様子を見ていたが、眩暈も発生した。	54	80203	50~ 99
1	12~ 13	研修に参加後、戻る途中に雪道で転び、左足首を骨折した。	49	150101	—
1	8~9	安全検査実施場所において制限区域立入保安検査実施のため検査対象車両に接近した際に凍結した路面で滑ってバランスを崩し転倒し左手をついたことにより、左下腕部を骨折した。	54	170201	—
1	8~9	事業場敷地内において駐車場から事業場へ徒歩で移動している際に、地面が凍結していた所を通ったところ、転倒して腰を打った。	31	10805	50~ 99

1	7~8	会社構内の駐車場に自家用車を止め歩いて会社事務所向かう途中、凍った路面に足を滑らせ腰部より落下し、大腿骨頸部を骨折した。	33	11301	50~ 99
1	7~8	朝、出勤し事業所敷地駐車場を歩行している際に、凍結した路面で滑り転倒した際に右手首を受傷した。	49	130201	—
1	5~6	会社駐車場で、仕事を終えて帰宅しようと自家用車のエンジン始動に向かった所、早朝で駐車場が凍結していたため転倒したことで負傷した。	63	150101	10~ 29
1	5~6	勤務中、トイレの1ヶ所目の鍵を開け、2ヶ所目のトイレに向かう途中、凍結していた道で滑り転倒し、右手首をつき骨折した。	66	170201	30~ 49
1	8~9	自宅から車で通勤し、職場の駐車場に到着して、降車した際に路面が凍結しており、転倒して左手三角骨を骨折した。	58	10109	—
1	9~ 10	店の駐車場で仕入の品物を降ろした後、車の移動のあと新雪の下が氷っていたのがわからず、2~3歩目に足が滑って転んでしまい、その時に地面についた右腕の付け根（肩）に痛みがはしった。	67	80209	1~9
1	14~ 15	ホリデーコースでスキーのレッスン中に、スピードコントロールが出来なくなった生徒が、ファミリーコース方面に暴走してしまい、安全確保のため、その生徒を追いかけている際、未整備で雪のかたまりの多い場所で転倒した。その際、身体の右側を下にするかたちで激しく転倒したため、右第4~第7肋骨を骨折した。	62	120109	10~ 29
1	8~9	デイサービス利用者宅へ迎えに行き玄関に向かう際、凍結していたコンクリートの庭先にて転倒し、咄嗟に左手をついたが体を支えきれず、横向きに転倒し、顔面左側を強打した。	66	130201	—
1	10~ 11	解体工事現場にて工事車輛搬入の為現場の氷を壊しているときに転倒し右手差し指を負傷した。	24	30209	—
1	17~ 18	勤務を終えた後、徒歩で帰宅するため管理棟から出て、隣接の駐車場を横切って移動中に、路面が凍結状態であったため滑って転倒し、その際、地面についた右手を骨折した。	31	40101	50~ 99
		除雪現場にて重機の旋回を見ていたところ、重機の右側にある民家から			

1	10～ 11	車が出ようとしていたので、そちらを向いて停止の合図をしようとした際、滑って転倒し負傷した。	63	170201	50～ 99
1	10～ 11	集配中、配達先に向かうため走って玄関まで行こうとしたところ、玄関スロープ付近が凍っていたが雪が積もっていたこともあり気付かず通ろうとした際に滑ってしまい、右足首をひねり骨折した。	48	40301	30～ 49
1	15～ 16	当施設敷地内にて、ご利用者宅へ訪問リハビリへ行く為公用車を取りに向かっていた所、路面凍結箇所があり、そこで足を滑らせ転倒し骨折した。	41	130201	50～ 99
1	15～ 16	児童のお迎えの時、集合場所にて、子供たちを整列させようとしていた。整列しない児童を走りながらつかまえようとした時に後方に雪山があり、つまずいて後ろ向きに腰をひねりながら転んでしまい、左腰骨を骨折した。	66	130201	—
1	2～3	点呼を受ける為、自家用車から事務所へ向かう途中、凍結した路面で足を滑らせ転倒し、右腕を骨折した。	56	40301	10～ 29
1	9～ 10	デイサービス利用者宅に送迎に行こうと運転中、利用者宅周辺の坂道の路面が凍結していた為、塩化カルシウムを探そうと車外に降りた際、路面の凍結のため足元が滑り転倒し、尻もちをついた後、右肘の内側を強打し、尺側側副靭帯を損傷した。	25	130201	100 ～ 299
1	7～8	敷地内駐車場で通用口へ向かって歩いていた際、搬入トラックが来たため左側へ避けようとしたところ、雪で凍結した地面で転倒し、左手をついて左手首を骨折した。	58	80209	50～ 99
1	4～5	配達先の駐車場地面が、昨日からの積雪で凍結がひどく、注意していたが転んでしまった。	72	80205	10～ 29
1	5～6	第三駐車場横歩道にて退社するため、第二駐車場に駐車した自転車に向かって歩行していたところ、底面がフラットなブーツを履き、両手に荷物を持った状態で凍結したアスファルト上を歩行中、左足を地面についた際に滑って前方へ蹴り出すような形になり、荷物を持っていたため受	47	11403	100 ～

		け身が取れず、お尻から転倒し、地面に強く打ちつけ、尾てい骨を骨折した。			299
1	5~6	配達先である家の玄関前にて、配達をしている時、地面（路面）が凍結していたので、滑って転んで両手をついた際に、特に左手を強打して、左手の手首及び左肩に強い痛みが発症した。	79	80205	10~ 29
1	11~ 12	食品倉庫に調味料を取りに行く際、従業員と出合頭にぶつかって、勢いよく跳ね飛ばされ転倒し、食品棚に左腕と頭をぶつけて打撲した。	52	140201	10~ 29
1	16~ 17	学童教室内で子どもの宿題を見ている時、後ろから子どもに突き飛ばされて転倒し、腰及び首を捻挫した。	44	120109	10~ 29
1	13~ 14	裏庭清掃中、枯葉の上に足を置いたらすべり右足を痛めた（踵後部骨折）。	72	150101	10~ 29
1	8~9	2週間の予定で出張中（応援のため）に、宿泊先のホテルから店舗へ出勤途中に、凍結していた路面で滑り転倒し負傷した。	31	80209	—
1	21~ 22	営業先のお客様宅に向かう道中の駐車場を歩いている際、暗闇の中、地面が凍結していることに気づかず、足を滑らせ、首からかけていた携帯端末が脇に挟まり、そのまま転倒し、胸を強打した。	44	170209	100 ~ 299
1	8~9	従業員駐車場で、朝の出勤時に自家用車から店舗へ歩いて向かう際に、凍結した路面で滑って転倒し、右手を突いたため、右手首を骨折した。	56	80209	30~ 49
1	7~8	敷地内を徒歩で移動中に、地面が凍っていたため滑って転倒し、右足首を負傷する。	21	130201	50~ 99
1	1~2	台の入れ替え作業で台を運んでいた際に、店舗敷地内で雪のため足が滑り転倒してしまった。その際、階段に背中を強打し、持っていた台の角が首に当たり負傷した。	28	140309	10~ 29
1	9~ 10	14番ホール残り100ヤード付近の斜面で、お客様のボールを探している際、蔓に足が引っかかり転び、拳が右肋骨付近に入った。	57	140301	30~ 49
1	9~	ボイラー設備業者の対応時、ボイラー室前の道路が凍結しており転倒	50	140301	50~

	10	し、左ひざを負傷した。			99
1	8~9	朝通勤し降車後、医院敷地内にて、前日の雪にて凍結した場所で転倒し、右肩を強打し骨折した。	33	130102	—
1	6~7	従業員駐車場からA館従業員入口へ向かって歩いていた際、前日の降雪で地面が凍結していたため滑って転倒し、左足の脛に2ヶ所の骨折を負った。	48	80201	100 ~ 299
1	6~7	始業点呼を終えた後、営業所構内のバス駐車場で路線バスの運行前点検をする際に、受託業者によるバスの洗車により路面が凍結していた為、滑って転倒し、左手首を負傷した。	45	40202	100 ~ 299
1	9~ 10	配達を終え、配達先玄関から車両に戻ろうと配達先敷地内を歩行していたところ、凍結した路面で足が滑り、転倒し負傷した。通常はスニーカー等の運動靴着用している。	41	110101	500 ~ 999
1	22~ 23	店の閉店時、駐車場にあるガスの元栓を閉めに行った際、雪により凍結した路面で滑り転倒した。転倒時に手で頭を庇ったとき、肘が路面にぶつかり、右肘にヒビが入り、左肘を打撲した。	42	140201	1~9
1	18~ 19	夜まで勤務し、帰宅するため職員駐車場へ向かった。職員で雪かきはしていたが、圧雪と夕方の冷え込みで滑りやすくなっており転倒し、その際に右手をつき手首を痛めた。しばらくその場に座り込み、気分が悪くなってきたので園に戻り、救急搬送された。	56	130201	10~ 29
1	7~8	駐車場の雪かき中、凍結面で滑り転倒（重心がやや左寄りの状態した。しばらく作業を続けたが、痛みが強くなり救急搬送され、左足の骨折が判明した（左ふくらはぎの裏と左足首）。	46	140201	10~ 29
1	6~7	配達業務中、自動車から降りて配布先のポストへ投函した際、足を滑らせ転倒し、右肩を強打した。	57	80205	1~9
1	10~ 11	クラブハウスの玄関を出て、フェイスブック用の写真撮影をしようとしたところ、雪解け水で凍結していたアスファルトに滑り、体の背面及び後頭部を打撲した。	56	140301	50~ 99

1	9~ 10	デイサービスご利用者様の補聴器の交換が必要となり、隣接しているサービス付き高齢者向け住宅へ歩いて行き、施設へ帰る途中に地面の圧雪に足を滑らせ転倒した。右足の足首に強い痛みと腫脹があり、右足足関節骨折と判明した。当日は大雪のため積雪があった。	61	130201	10~ 29
1	8~9	クラブハウスの裏玄関から出て、除雪現場（管理棟）に向かう途中、道路路面が凍結しており、足を滑らせ転倒した。	65	140301	30~ 49
1	8~9	請負契約業務中、駐車場内巡回中に駐車場内が凍結しており、足を滑らせてスリップ転倒した。	52	170201	30~ 49
1	8~9	会社に出勤するため、会社所有の駐車場に車を止めた。駐車場を歩いているときに、週の初めから降り続いた雪の影響で地面が凍結しており、足が滑ってそのまま仰向けに転び、後頭部にけがをした。	63	150101	1~9
1	13~ 14	降雪する積雪のため、駐車場に雪が積もっており、その雪を除雪しようとしたところ、滑って転倒してしまい骨折した。	69	80209	—
1	18~ 19	宿直勤務の為、病棟室に向かう廊下の扉から外にある霊安室の戸締りの確認に行こうとしたところ、スロープが凍結しており、足を滑らせて後ろに転倒した際に左手をつき、手首に圧がかかり激痛がはしり、骨折となった。	56	130201	100 ~ 299
1	9~ 10	仕事場について車から下りた時、路面が凍結していて転倒し、足をひねった。	67	170201	—
1	5~6	構内のスタンドに給油のため接車する際、運転席より下車し、最初の一步を踏み出した際に地面が凍結していたため、滑って臀部をつき、その反動で仰向けに転倒し、後頭部を強打してしまう。自力で事務所まで戻って来て様子を見ていたが、手先の痺れが全く取れなかった為、救急搬送となる。早朝の気温低下による地面の凍結を予測した慎重な行動が出来ていなかった為に起こったと思われる。	61	40301	50~ 99
1	9~ 10	郵便局に行くため近くの駐車場に車を止め、車から出て2~3歩歩いたところ、雪が凍っていたため滑って転び、右足首を骨折した。	67	170209	—

1	9~10	当日、現場の打ち合わせにて坂道を歩行していたところ、雪で足を滑らせてしまい誤って転倒し、右足首を捻り骨折したものである。	53	30209	30~49
1	8~9	利用者様の送迎のために早朝出勤し、職場の駐輪場で自転車をひいて歩いていたが、凍結のため激しく転び、ひざを強打した。なかなか立ち上がれず、出勤して来た職員に抱きかかえられ、玄関内へ移動してもらった。	60	130201	30~49
1	11~12	社用車に戻る際、路面の雪が踏み固められて滑りやすくなっており、滑って転倒した。	28	80209	10~29
2	20~21	職員玄関で、自宅へ帰宅するため駐車場へ向かう時に、職員玄関を出てすぐ雪道で滑り転倒した。臍臓と腎臓の間にあった腫瘍が転倒の影響で内出血を起こした。	66	130201	50~99
2	14~15	除排雪の業務中に足を滑らせ転倒し、その際に左手を受傷した。	54	30199	10~29
2	13~14	会社駐車場で凍結してた場所で転倒し大腿骨を骨折した。	42	80109	1~9
2	11~12	運転を終えて、運転士交代をした後、営業所へ戻るため、地下歩道の階段を下っていたところ、中盤あたりで雪が解けて再び凍った氷で足を滑らせた。両脇に荷物を抱えており、手すりなどにつかまることができず、右腰から打ちつけてしまった。	54	40202	100~299
2	9~10	当社加工場において廃材の整理作業中、路面の凍結凸凹に足を滑らせ左足を捻り負傷したものである。	22	30201	10~29
2	9~10	出社して事業所に入ろうとしたところ、玄関前に落ちていた氷塊を踏んでしまい転倒した。地面に左手をついた際に骨折した。	64	130201	10~29
2	8~9	職場である幼稚園・保育園の駐車場に駐車し、駐車場から歩行中、下り坂の道路がつるつるに凍結していたため、注意深く歩いたが、右足を滑らせ転倒し、その際に右肩部分を強打し、右上腕骨頸部を骨折したものである。	55	120109	—
2	6~7	事業所前のバス待機所で、児童の送迎出発前に前日に降り積もった雪の	68	120109	10~

		除雪作業を行っている際に足が滑り転倒し左手首を骨折した。			29
2	14~15	社会福祉施設への配達を終えバイクで発進した直後、路面がアイスバーンになっていることに気づかずスリップし、バイクごと転倒した。その際、路面に右肩を強打した。	53	110101	10~ 29
2	11~12	店舗住宅部分改修工事現場にて、付近の歩道を木材を右手に抱えた状態で移動中、凍結した路面で足を滑らせ転倒し、かばった左腕を路面につき骨折する。	50	30202	—
2	6~7	事業主経営牛舎内に於いて搾乳作業の為に牛を移動させていたところ、立てない牛がいたため、事業主を呼びに行こうとした際、足もとが凍っていたため、転倒し、右手首を骨折したものである。	26	70101	1~9
2	5~6	朝刊配達中、玄関前が凍っていた為、滑って転倒し左手首を骨折した。 (家で様子を見ていたが痛みが取れず翌日受診して骨折が分かった。)	63	80205	—
2	3~4	会社への帰庫前にガス燃料を充填しようと現場ガススタンド構内の所定の位置へ駐車し、降車後、所用を済ませた後再度乗車する為、運転席ドアを開けようとした際、足を滑らせて転倒し後頭部を地面に打ちつけて負傷したものである。	33	40201	50~ 99
2	18~19	アパートのお客様の家に寿司と茶碗蒸しを配達するため、車から降りて、お客様の玄関へ行く際、アパート前が氷状で尚且つ、うっすら雪が積もっており、注意しながら歩いていたが、寿司と茶碗蒸しを持った状態で後ろ側に転倒し、頭と上半身を地面にぶつけた。	54	80209	10~ 29
2	17~18	ラジオ収録のリハーサル後、帰社するため車に戻る際、車両の後方確認のため徒歩で中小路に出たところ、路面が凍結しており足を滑らせて転倒した。(当時積雪で、凍結していることが分からなかった。)右足の人差し指と中指の中足骨を骨折した。	48	90209	30~ 49
2	17~18	会社敷地内の駐車場で作業を終え、自家用車に戻る途中に凍結していた氷に足を取られ、後頭部より転倒し、打撲傷を負い、脳挫傷、頭骨骨折で、一週間位経過を視るとのことである。	62	40301	50~ 99

2	19~20	勤務事業所建物隣接の駐車場にて、社屋横隣にある駐車場に営業車を駐車し社屋に戻る為、車道を横断しようとした時、車道及び隣接する歩道が、積雪・気温低下による凍結状態、いわゆるアイスバーンの状態であった。アイスバーン状態の路面で左足を滑らせ転倒し、左腰部を強打した結果、左足大腿部頸部を骨折した。	51	170209	—
2	17~18	チラシ配布作業終了後、会社に戻るため社用車に向かおうとしたところ、駐車場付近で、日没のため既に足元が見えづらかったのに加え、路面が凍結していたため、バランスを崩し、右足を内側にひねった状態で転倒した。病院で診察後、翌日になっても痛みがあったため検査したところ、骨折および靭帯断裂と診断された。	32	80205	50~ 99
2	16~17	被災者は、集荷業務を終え運転席に戻ろうとした際に、雪が積もっていたにもかかわらず滑りやすい路面を想定しないまま足を滑らせ、転倒する。その際、手をついた時に左手首の骨を折る。	50	40301	50~ 99
2	14~15	被災者は、個人宅へ配達をしようと、道路にバイクを停車し、配達箇所へ歩いて向かう途中、少し傾斜になっているところで足を滑らせ転倒した。	24	110101	300 ~ 499
2	14~15	被災者は寮内へ畳（重さ約20kg）1枚を担いで搬入しようとしたところ強風にあおられ転倒した。左脚大腿骨を骨折したものである。	29	11709	—
2	8~9	当事業所内の除雪作業時に、スコップを取りに行くためにヤード内を移動中に足が滑り尻もち転倒し、転倒後立ち上がる際に右足を捻り受傷した。	49	80409	10~ 29
2	8~9	休憩所から作業場へ向かう途中、通行路内に於いて、凍結した路面に足を取られ転倒し、左第8肋骨を骨折した。	60	10401	10~ 29
2	6~7	入社時、駐車場に車を停めて事務所前まで歩いて行ったところ、足を滑らせ転倒し胸を強打した。当日、雪が降っていて、事務所が傾斜になっている為、足元が悪かった。当日は通常通り勤務したが、その後痛みがひどくなったので、後日、病院を受診した。	57	30106	10~ 29

2	6~7	敷地内駐車場で車を停めた後、玄関まで歩いている時、路面凍結しており、滑って転倒した。	41	130201	10~ 29
2	5~6	病院警備員として院内外巡視中、玄関から病院外周を巡視する際、吹雪の吹き溜まりの状態により、路面の段差に気付かなかったため路面の氷面で足が滑り転倒し、右足くるぶしを強打して骨折をした。	78	170201	100 ~ 299
2	5~6	新聞配達中、宅前にて滑って転倒した。顔面をぶつけて、顎の上部2~3箇所骨折および腕の打撲で入院・手術となる。	65	80205	10~ 29
2	5~6	バスの車庫での作業を終えて事務所に戻ろうとした際、車庫の前で右足を滑らせ仰向けに転倒して頭を強打した。その後勤務を終え帰宅してからも具合が悪く、嘔吐したことから救急車で病院に運ばれた。	67	150101	100 ~ 299
2	11~12	工事現場で倉庫から外にある仮置場に重さ8kg位の木の角材を運んでいる時に積雪路上であった為足を滑らして転んだ。右手で体を支えたが、不安定な転び方をした為左肩を強打してしまった。	65	30203	—
2	8~9	後片付け作業中、会社敷地内を徒歩で移動中、坂道で転倒し腰を強打する。下り坂で路面が凍結し滑り易くなっていたので注意していたが足元が滑り転倒した。転倒後、痛みが酷いので、休憩室で安静にしていたが、あまり改善されない為病院へ行き診察の結果、腰椎突起部が骨折していた。	41	30199	30~ 49
2	9~10	箱車のおおりを横に倒し、その上で作業をしている際に、雪で滑って転倒し、右膝下部を打った。	55	40301	50~ 99
2	5~6	朝刊の配達中に凍った地面が滑ることに気付かずに滑って転倒し、その際左足を強打した。後日受診し、左足骨折と診断された。	61	80205	50~ 99
2	4~5	会社駐車場へ、社用車を取りに向かう時、会社南側歩行者専用道路がアイスバーンになっており、滑って転倒した。左足の指をひねり親指を脱臼骨折した。	39	80205	100 ~ 299
2	20~21	夜間配達中、配達先の住宅入口手前の歩道が凍結している事に気付かず足を取られ右側胸部を下に転倒し肋骨2本を骨折したものである。	51	40301	50~ 99

2	8~9	出勤のため、介護施設の駐車場に到着し、自動車から降りて数メートル歩いたところで、アイスバーンになっていた路面で滑って転倒し右足を負傷した。	49	130201	10~ 29
2	8~9	出勤時に工場到着後車から降りて工場へ向かう途中で滑って転倒した。転倒場所は負傷者本人が駐車した右後ろ部分、当時直径1m位の広さが凍結していた。（雪解け氷が凍結した状態）	59	11402	10~ 29
2	10~11	旧発泡減容棟と受入用コンテナの間を通り、ペットボトル減容棟に向かう途中、路面が凍結しており左足を前方に滑らせ右膝を痛打した。	64	150103	50~ 99
2	13~14	学校の敷地内で外周巡回中、通路が凍結していたため、滑って膝を強打し膝蓋骨を骨折した。	58	120109	—
2	9~10	除雪のために長靴を自分の車に取りに行く途中、会社敷地内の凍結した路面で転倒し頭部と腰部を打撲した。	35	80202	10~ 29
2	7~8	利用者宅に向かう前に、事務所に薬を取りに来た時、事務所の玄関を出たところスロープで滑って転倒し負傷したものである。（スロープに雪が積もっており、下が凍結していた。）	59	130201	50~ 99
2	17~18	会社駐車場にて、退社し建物を出て自家用車に向かって歩いていたところ、路面が凍結しており転んで頭を打った。	55	170202	10~ 29
2	11~12	病院敷地内の喫煙所から病院裏側の細道を通り食堂へ行く途中（昼休み中）、雪で傾斜になっていた凍結した路面で滑り、後方に転倒し臀部を強打した。	38	130101	500 ~ 999
2	6~7	自社事務所前で凍結した地面に足を滑らせ、転倒を回避しようとして足首をひねり右足首を骨折した。	49	80409	1~9
2	6~7	事業場の敷地内で作業準備をしようとカーテンを閉めて戻る時、通路が凍っていて足を滑らせ右手をついて転倒した際に骨折した。	63	140101	1~9
2	9~10	技術管理棟玄関前道路にて通行中に凍結した路面に足を滑らせて転倒し、後頭部を強打した。現場路面は前日までの降雪を除雪してあったうえ、路面が凍結しており滑り易い状況にあった。	51	120109	10~ 29

2	9~10	技術管理棟の玄関前道路を歩行中、凍結路面で足を滑らせ仰向けに転倒した。後頭部を強打した。	51	120109	—
2	13~14	陸送車引取の為、伺った支社様の構内通路において雪に足を滑らせ転倒してしまい、左足親指付根部を骨折した。	61	40301	—
2	8~9	敷地内駐車場に車を止め、建物に向かい歩いているところ、雪の上で滑り転倒し背骨の骨が圧迫された。	63	130109	—
2	7~8	仮設トイレ前で氷が張っているのに気付かず、被害者が滑り、背中から地面に強打した。	47	170201	50~ 99
2	11~12	解体工事現場で廃材の分別作業をしていた際に、ブルーシートに残っていた雪に足を滑らせて転倒し、左側頭部を廃材にぶつけて挫創した。	49	30309	—
2	18~19	新築建売住宅工事現場にて現場確認作業中に、足元の状態が悪く、歩行中にバランスを崩し転倒した。その際に排水枡に足を強打し、右足小指を骨折した。	26	30202	30~ 49
2	17~18	業務終了後、タイムレコーダーを打刻して会社裏の従業員駐車場で、連日の大雪の為、自分の車を置いた後部が凍っている状態になっていた。注意したにもかかわらず転倒して右手首を骨折した。	55	80109	30~ 49
2	8~9	当事業所スキー場内のレストランに向かう途中、斜面を下っている際に凍った地面の上に雪が積もっていたため滑って転倒し、右足首を負傷したものである。	63	140309	30~ 49
2	5~6	民家の軒先において、新聞の配達作業中、庭先を歩いて民家の軒先にある縁側（奥行40cm）の上に、いつものように新聞を置こうとしたところ、縁側の前のコンクリートの床が流れて来た雨水で凍結した状態であった。まだ暗い時間帯であり、足元が良く見えなかったため足を滑らせ転倒した。転倒した際、縁側の縁で左腕を強打し、受傷したものである。	74	80205	50~ 99
2	16~17	駐車場で、運行終了後の車両点検作業中、エンジンなど車両各所に凍結防止の毛布をかけていたところ、路面が凍結していたため転倒した。	57	40202	10~ 29

		右腰部分を地面に強打し負傷したものである。			
2	5~6	新聞配達中、配達先の玄関前が凍結していた為、足を滑らせて、転倒してしまい、その際右足大腿骨を骨折したものである。	62	80205	50~ 99
2	14~15	凍結した道路上で除雪作業中に転倒しそうになる。その際に右足で身体をかばったため、腰を痛める。その後、右下半身（右股関節、右ふくらはぎ、腎部等）からも痛みが発生した。	30	150101	30~ 49
2	9~10	当社敷地内レストハウス横に併設してある固定コンテナタイプの冷凍庫のアイスクリームタンク10kgを運搬車の荷台に積み込む作業中、荷台の中でコンテナ（20kg）にタンクを載せようとしたところ、足下が凍結していて、前に転んだ際、コンテナについている紐につかまってしまい、コンテナが左手に落ちてきて挟み負傷した。	38	140201	30~ 49
2	8~9	出勤時、駐車場から事務所へ向かう通路で、転倒し、頸椎を捻挫および、左肩関節を打撲した。	52	140101	10~ 29
2	14~15	入口付近にて、資料を事務所内へ持ち込もうとする際に転倒し、右足首をひねり、骨折した。関節の骨折であり、手術入院リハビリがある為、休業となる。事故時は、来客もある場所の為、氷も割りゴザ、ムシロ、マット等で滑り止めの措置はしてあったが、ムシロのある場所以外を歩き転倒してしまった。	32	170209	—
2	8~9	当社社員寮から徒歩で本社事務所に向かう途中、第二駐車場を横切り第二駐車場の脇道（当社敷地内）で足もとが凍結していて転倒し右腕を下に転倒したため右腕で脇を強く打ち負傷した。	61	140101	100 ~ 299
2	7~8	正面入口（インフォメーション入口）より準備金を受け取るため館内に入る際に凍っていた雪面に滑り、バランスを崩して背面より転倒した。両手に荷物を持っていたため回避することができなかった。	66	40101	30~ 49
2	8~9	従業員駐車場において出勤し駐車した後、車から降り作業場へ向かうため歩き出した時に雪で足が滑り転倒した。その際右足首に自分の体が乗ってしまい、全体重がかかり、骨折した。	39	80209	50~ 99

2	4~5	新聞配達中に、下り坂に差し掛かった際に路面が凍結していたため道路脇のガードレールにつかまって坂道を下ろうとしたところ、転倒して右の足首をひねりながら道路に右足首を打ちつけた。	68	80205	10~ 29
3	18~19	営業先の駐車場で建物に向かって歩いている途中、道の上で足が滑り転倒した。	53	10402	50~ 99
3	10~11	会社の駐車場で車から降りる際、下が盛り上がり、氷上だったこともあり滑って転倒した。	51	80109	10~ 29
3	16~17	新聞配達の業務中に凍結路面で足を滑らせ転倒し、足の小指付近を骨折した。	62	80205	30~ 49
3	5~6	飼料庫よりコンテナを持ち飼料を取りに行く途中、凍結路面で転倒し、頭部を強打し受傷した。	53	10899	1~9
3	5~6	新聞配達中、凍結路面に自転車のハンドルをとられ転倒し、左ヒザを強打した。	76	80205	100 ~ 299
3	7~8	施設内のごみを屋外のごみ箱に捨てに行く際、雪がうっすらと積もっており、足を滑らせた。身体を支えるため咄嗟に右手をついたが転んでしまい、ごみ袋を持っていた左手を地面に擦った。	54	130201	10~ 29
3	6~7	門衛業務中、第1駐車場の駐車スペースに前夜に降った雪が薄く残っていたため、白線が見えるように除雪作業を行っていたとき、凍結していた路面に足を滑らせ後方に転倒し、頭部を強打した。	63	150101	30~ 49
3	6~7	新聞配達中、敷地内で新聞を投函し車に戻ろうとした際、砕いてあった氷につまずき正面から転倒し、右膝を地面に打ちつけ負傷した。	68	80205	100 ~ 299
3	7~8	作業車両のエンジンを始動するのに、当該車両に行く途中、路面凍結により転倒し負傷した。	49	170209	30~ 49
3	12~13	配達中、荷台の縁を掴みながら、サイドステップを使わずに後ろ向きで降車、着地した地面が溶けた氷で非常に滑りやすい状態であったため、	52	40301	30~

		足を滑らせ転倒し、自身の肘の上に脇腹が乗ってしまい、左肋骨を骨折した。			49
3	6~7	駐車場内にて、出勤のため駐車し出勤入口に向かって歩いていた際、薄く凍結していた路面で足を滑らせ転倒し、左肘を強打した。	62	80209	50~ 99
3	2~3	早朝、新聞の配達中、路面がアイスバーン状態で雪が積もった状態で歩行中に足を滑らせ、右足首を骨折した。	49	80205	30~ 49
3	14~15	休憩時間中、職場敷地内にとめてある車に作業に使うメモ帳とペンを取りに行き、就業場所に戻る途中、雪道で足を滑らせ転倒した。	21	140101	500 ~ 999
3	10~11	ポスティング中、アイスバーンとなっていた坂道を下っていたところ、足を滑らせ強く左足首を捻り骨折し、転倒した際に右肘も打撲した。	55	80209	10~ 29
3	5~6	救護施設内の調理員専用駐車場に車を止め、正面玄関へ向かって歩いていたところ、早朝の気温低下で凍結した路面に滑り、転倒した際に後頭部を打った。当初は処置等しなくても問題なく勤務ができていたが、その後、意識障害と左麻痺の症状が現れた。	59	130201	30~ 49
3	4~5	新聞配達で歩いていたところ、寒かったため道路がブラックアイスバーン状態になっているのに気づかず進んだ際、滑って転倒し後頭部を地面に打ちつけた。	75	80205	100 ~ 299
3	20~21	帰宅時に社屋従業員用玄関から会社敷地内の駐車車両へ向かう歩行中に、駐車場内の凍結している路面で足を滑らせた、車のボンネットに右手をついたが体を支えきれず転倒し、右肩を負傷した。	46	11409	50~ 99
3	11~12	倉庫内で2枚立て掛けてあったパレット（110cm×90cm）約20kgを別の場所へ運ぼうと2枚一緒に手で押したところ、手前の1枚が倒れそうになったので支えようとしたが、間に合わずにパレットが倒れ、左足親指を骨折した。	57	130201	50~ 99
3	8~9	鋼材倉庫前で配送の荷物の確認のためトラックの荷台に向かって歩いていたところ、気温が下がったため雪解け水が凍っている路面があり、そ	64	80109	30~

		の上を歩いてしまった。足元が滑ってしまったため、転ばないように荷台につかまったが、左足首を捻ってしまい負傷した。			49
3	8~9	駐車場内を歩行中、アスファルトが凍結しており、足を滑らせ後方に転倒し、左肘を強打した。疼痛はあるが業務を実施していたところ、徐々に疼痛が悪化し業務継続が不能となる。	48	130101	~ 299
3	7~8	出勤時に職場の駐車場に車を置き歩き出したとき、路面凍結により、店舗敷地内駐車場で転倒した。	50	80209	50~ 99
3	7~8	ウッドチップパドック前でウッドチップパドック内にある水桶に水を入れるため、水が入ったポリタンクを両手に持ちながら、少し小走りしていたところ、雪がうっすら積もった通路がアイスリンクのようになっていて転倒した。	52	70101	50~ 99
3	7~8	業務用チラシを戸別配布中、路上で路面凍結により滑って転倒し負傷した。	50	80205	100 ~ 299
3	6~7	地下駐車場D階段地上出入口付近の除雪作業を実施中、凍結路面に足が滑り転倒し、左足側面を強打した。	62	150101	100 ~ 299
3	5~6	出勤時に自家用車を駐車場に止め、物流プラットフォーム前を歩行中、積雪により段差のところで滑って転倒し、左肩を強打した。	70	10109	100 ~ 299
3	1~2	会社の敷地内の駐車場でタクシーの乗務を終えて社屋に入ろうと歩いていたとき、凍った路面に足を滑らせ転倒し、頭部と腰を打った。	68	40201	100 ~ 299
3	0~1	校舎外周を巡回警備中、凍結した地面に雪が積もり、足を滑らせ転倒した。転倒した際、仰向け状態で右手首が自分の体の下になったまま氷の塊の上に転倒したため、右手首に激痛がはしり動けなくなり、救急搬送され、右手首骨折と判明した。	40	150101	300 ~ 499

3	16~17	学童保育室内で掃除をしている児童の指導中、忘れ物を取りに児童が戻ってきたため対応していたところ、床の雑巾がけをしていた児童が右後方より右足元へ突っ込んできて、避けきれず転倒した。痛みはあるが様子をみながら勤務していたところ、腫れと痛みがひかず、骨折と判明した。	55	170209	1~9
3	16~17	担当リフトの勤務を終え、事務所向かうため中間部付近左端を、スノーボードを抱えて徒歩移動していた際に雪面に足を滑らせ転倒し、持っていたスノーボードの板上に左膝を強く打ちつけた。	45	140309	30~ 49
3	10~11	班員2名で侵入竹の伐採作業中、支障木の雑木を伐倒するため足場を確保し、チェーンソーによる作業を開始したところ、足元が滑り約3mの急斜面を滑落し、その際、左手で持っていた（左利きのため）チェーンソーの刃先が右手上腕部に当たり切創した。	54	60201	10~ 29
3	11~12	広葉樹の伐採現場で技等の藪整理をし、その藪を乗り越えたところ足が滑り転倒し、右足のひざを打つと同時にひねり、痛みが治まらなくなった。	43	60201	10~ 29
3	7~8	事業所の敷地内を始業前の準備作業をしようと歩いて移動していたところ、昨日から降った雪で滑って転倒し、左足を負傷した。	63	11209	30~ 49
3	16~17	レストランでの勤務を終え、帰宅しようと駐車場へ向かう道（会社敷地内）を歩いていた。コンクリートの上に氷や雪が降り積もり固まっているような状態の場所を、ゴム製の長靴で歩いていたところつまずいてしまい、両手に荷物を持っていたため咄嗟に手が出せず、顔面から転倒して負傷した。	64	140201	30~ 49
3	10~11	馬運動場において取扱馬の乗運動中、該馬が突然暴れた際に落馬し、腰部及び左脇腹を強打し負傷した。	39	70101	10~ 29
3	13~14	スキー場コース第3キッカーにて、チェックの為ジャンプしたところ、着地点に湿雪が積もっており、足をとられて転倒し、左膝前十字靭帯断裂を負った。	34	140309	30~ 49

4	4～5	水産PC製品化作業場で、生食盛り付けをする仕事をしていた時、粘着ローラー掛けが終了後、振り向いて動いた際に足が接触して転倒し、作業員とぶつかってしまった。	61	10109	100 ～ 299
4	11～ 12	日常清掃に入っている現場にて、従業員用の風呂清掃を行う際、風呂のフタを閉めて段差を1段下りたところ、床が濡れており（タイル）、そこで足を滑らせ転倒し、左腕を床に強打した。	48	150101	30～ 49
4	14～ 15	グループホームリビングフロアにて、利用者様が立ち上がる時手を貸したところ、急に手を離しソファに座った為にバランスをくずし、手をついて転倒し、痛みと腫れが続き、手首に変色があった。	65	130201	50～ 99
4	9～ 10	当社宿泊施設敷地内にて、裏手のゴミ集場へゴミを置いて戻る途中、砂利道に足をとられて転倒し負傷した。	63	140101	10～ 29
4	0～1	店内シャンプー一定番売場前の通路で、歩いているときにオイルのような液体が床に散っていたため、滑って転倒した。	32	80209	10～ 29
4	14～ 15	キャディ業務中18番ホール2打目附近において、お客様のクラブをお預かりしてカートにもどる途中で斜面の枯葉で滑って転び左手をついた為、左手を骨折する。	53	140301	100 ～ 299
4	3～4	夜勤中に入居者様からコールによる呼び出しがあり、居室に伺ったところ、入居者様がベットより立ち上がっていて転倒しそうだった。慌てて入居者様を支えたところ、ベットの柵に入居者様を支えた状態で右手を強打した。	26	130201	50～ 99
4	15～ 16	工場内で午後のラジオ体操後、被災者が手を腰の後ろでにぎって前屈した時に、同僚があやまって後ろから被災者にぶつかり、後に手を握っていたので手を前に出せずに、工場内のコンクリートの床に前額部を強打した。	69	10102	50～ 99
4	15～ 16	村道にて竹林搬出道路伐採作業中に、台風通過後の竹が倒れ、乱れた環境で竹が村道に倒れ乱れており、笹の葉が腐葉土となり足場が不安定だった。台風通過後で村道に竹が倒れている状況で、村道に倒れている	77	10103	1～9

		竹を伐採中に背後から別作業者の車が通過した際に、伐採した竹を踏む音に驚き、振り向いた時によろめき倒れ、右手首をついて骨折した。			
5	13～ 14	家畜車で牛運搬作業中、牛舎内へ牛を引いて搬入する際、牛が転倒して作業員も引っ張られ転倒した。転倒時、左手を先に着いたため左手首を負傷した。	47	40301	10～ 29
5	13～ 14	作業場でコンテナを運び出す作業中に渡されたコンテナの中に蛇が巻き付いており、驚き転倒し、手と頭を打ち、左手首を骨折した。	64	60101	10～ 29
5	17～ 18	当社デイサービス施設玄関前にて、デイサービス利用者の帰りの送迎対応で利用者に送迎車の後部座席に座ってもらうための乗車介助をしていた際、ステップに足を乗せていたところステップが雨で濡れて足を滑らせ体が傾き、車両内左側の手すりに左胸部下を強打した。	36	130201	50～ 99
5	10～ 11	高圧ケーブル引込み電柱周辺にて、樹木の枝を除去するために移動中に斜面を脚立を持っていたため、雑草や落ち葉等で足を滑らせ転倒した。その際、脚立のアルミ部分で右足を打撲した。	66	150101	100 ～ 299
5	8～9	調教を終えて、厩舎前で上がり運動中、放馬された他の馬が突っ込んで来てぶつかったため、馬が右側に倒れた際、馬と地面の間に右足が挟まれて右リスフラン関節、右足第2、3、5中足骨を骨折する。	23	140309	50～ 99
5	14～ 15	畑で草刈機使用中、草に足を引っ掛けて強く転倒し、左の腰から足にかけて打撲し、痛みが取れずに歩きにくくなった。	73	60101	1～9
6	13～ 14	トドマツ植林地の下刈作業現場で下刈作業中、傾斜地で右足が滑り、その際に左足ひざを地面に打ちつけ打撲を負った。	65	60209	10～ 29
6	9～ 10	南西斜面を仮払機を使用して芝刈り作業中、斜面を横に移動しようとした際、左足が滑り、左側から後ろ向きに尻もちをつきながら転倒し、状態を庇おうと無意識に出た左手で無理に体重を支えてしまい、左肩を負傷した。	64	80409	50～ 99
6	10～ 11	造材現場で、被災者はグラップル付重機で集材作業をしていたが、重機から降りて作業路を見計中に転倒し、肘をついて負傷した。	65	60201	1～9

6	17~ 18	農業作業室で梅の商品化作業をしていた際、作業の向きを変えるため足を動かしたところ、床に落ちていたスイカの皮切端（5cm位）に気づかず、その皮を右足で踏んで滑った。股開き状態になり、左足の膝を打撲し、左足首を捻った。	61	80209	50~ 99
6	17~ 18	キャンパス正面受付で、大きい蛇が出たと学生が騒いだため、イノシシ退治で使用する棒で追い払おうとしたところ、蛇が威嚇してきたため後退した際、正面玄関前辺りのタイル面に尻もちをつき、腰を強打した。	70	170201	50~ 99
6	6~7	馬場Eコースにおいて、ゲート練習中、該馬が嫌がって突然立ち上がり人馬転倒し、右膝を強打し負傷した。	34	70101	10~ 29
6	21~ 22	ホテル玄関外にて、送迎車から降車した際、大雨で路面が濡れており、滑って転倒した。雨に濡れると思い、急いでいたため注意が行き届かなかった。転倒した際に骨盤を強打し、激痛で動けなくなった。	45	140101	50~ 99
6	16~ 17	商品配送時、組合員宅に商品をお届け後、トラックに戻る際に坂を下り右に曲がろうとした瞬間、地面のコンクリートの凹みに気付かず躓き転倒した。その際、手には何も持っていなかった。	46	80209	30~ 49
7	16~17	3階駐車場に車両を駐車し、徒歩で斜路を下った際、雨で濡れていた場所で滑ってしまい転倒。その際に左足首を捻り、亀裂骨折となる。	61	80202	30~ 49
7	13~14	給油所建物裏の土地の除草をするために、エンジン付噴霧器を背負い除草剤を散布中に、草丈が長かったためつまずいて転んだ。その先にあった物体に左膝をぶつけ負傷した。ぶつけた物体について後日確認したが、わからなかった。	69	80204	1~9
7	13~14	現場で刈り払い作業中法面の高さ1m、法面の角度45° 午前中から小雨が降ったり止んだり足元も少し滑りやすく、前日の作業でもイノシシが掘った穴が見つかり被災者も注意はしていたものの、左足首をケガしてしまった。刈り倒された草で穴も見つけにくかったのも原因の一つだと思われる。	54	30106	10~ 29
7	11~12	高齢者の介護を高齢者本人室でベットから車いすに移すときに、高齢者	54	130201	10~

		を抱えたまま転倒して顔面を負傷する			29
7	14~15	上期日、営業所の屋外に設置してある冷凍庫において冷凍庫内から荷物を持ち出そうとしたところ、冷凍庫のドアを開けた際に風でドアが勢いよく開いたために、その拍子に仰向けに転倒し、負傷したもの。	36	80109	10~ 29
7	6~7	馬を洗うため、洗い場に馬を繋ごうとした際、馬が飛び出しそのまま引きずられ右肩にヒビが入った。	50	70101	1~9
7	14~15	計量場から牛舎へ、牛をもくしで引っ張りながら移動していたところ、牛が興奮したためバランスを崩し転倒した。その際に、左体親指と小指を負傷した。	41	70101	10~ 29
7	12~13	砂利道で転倒し、受傷した。	62	170201	300 ~ 499
7	18~ 19	道路脇に前向きに駐車していた工事車両を、被災者がバック誘導し、歩道に戻ろうとした。左足から先に縁石を跨ぎ、右足を上げようとしたところ、右足が折れた雑草に引っ掛かり、右腕側面が下側の状況で自分の体重が全てのしかかった体勢で、歩道脇の草むらに転倒し負傷した。	51	170201	10~ 29
7	9~ 10	牧場内において、馬の写真撮影作業中、馬の曳き綱を持って馬の正面に立ち、馬の姿勢を整えていたところ、馬が急に暴れだしたため転倒し、右肩付近を地面に強打し骨折した。	48	70101	1~9
7	14~ 15	昼の営業が終わり、店の外にあるガスの元栓をしめようとしたとき、手前で草に足をとられて転び、右足を擦り剥き、左側のクーラーの室外機に左肩からぶつかった。	58	140201	1~9
7	10~ 11	伐倒作業中、次の伐倒木に移動中に、藪の中にハチの巣があるのに気付かず、近くを通った時に腕を刺された。驚いて咄嗟に斜面の低い方に逃げ出したとき、勢いづいて転げ、右肩を強打した。	50	60209	30~ 49
9	2~3	閉店作業中、グラス等の洗物をするようにと同僚に指示をされ、流し台の方に押されて体勢を崩してしまい転倒し負傷した。	53	140209	30~ 49

9	5～6	配達中ネコが飛び出し、急ブレーキを掛けてしまい転倒し、左ひざと左側股関節を痛めたものである。	51	80205	30～ 49
9	13～ 14	キャディ業務中に、8Hグリーン手前のスプリンクラーの穴に足をとられ捻った。	23	140301	50～ 99
9	2～3	客が店舗に忘れ物をしたため、それを届けた帰りに山手通りの店舗直前を歩行中、工事のため歩道が狭くなっていたために脇の植栽部分に足を踏み入れたところ、バランスを崩して転倒した、足を捻り甲の付近を捻挫したものである。	53	80209	10～ 29
9	7～8	ガソリンスタンド内の清掃を終え、トイレから出てきたところ、虫が飛んできたため、その虫を手で払って避けようとした際、バランスを崩し転倒し、左後頭部を地面に打ちつけ負傷した。	72	80204	10～ 29
9	11～ 12	会社所有の畑で、高菜の廃棄作業をしていた際につまずいて左足をひねり、左足甲から指先を骨折した。	61	10103	30～ 49
9	16～ 17	作業現場で、木を伐倒作業中に、傾斜地で、大きな石が転がってきて、よけたが転んでその時に右足首の上のにりあげ骨折した。	30	60201	1～9
10	8～9	会社敷地にある駐車場にて自家用車から降りて工場内に向かう途中、何か（不明）につまずいて足をとられ前のめりに転倒、左手を負傷した。始業前であり、手に痛みがあった為、そのまま帰宅した。	59	10102	50～ 99
10	23～ 24	女風呂を、洗浄薬品をホースで流す掃除をしている時、寝湯で足がすべり、後向きに転んで浴槽のフチに後頭部を打って負傷した。	55	130301	10～ 29
10	13～ 14	お客様宅訪問の際に玄関前付近にて、雨で滑りやすい状態であった場所で足を滑らせ転倒、その際左足を骨折してしまった。	56	80204	1～9
10	10～ 11	マンションの広場の庭園灯の拭き清掃中、屈んで作業していたが、強風に煽られバランスを崩して転倒した際に、頭部を強打した。その日は、定時迄、作業したが、調子が悪かった。	71	150101	500 ～ 999
10	18～ 19	保育園の駐車場で車に乗ろうとして暗くて足元が見えず、石の上に左足がのり、バランスをくずして転び、左手首を骨折した。	70	130201	10～ 29

10	23～ 24	病院において、施設警備業務に従事、定刻となり大学敷地内を自転車にて巡回していたところ、歩いていた学生を避けようとブレーキをかけたところ雨で路面が濡れておりスリップして転倒、ハンドルで胸を強打したものの。	61	170201	100 ～ 299
10	20～ 21	山の中で現場作業終了後、社有車にて現場事務所へ帰る途中で、忘れ物（レーザー距離計）があることに気付き、現場に引き返した。忘れ物を持ち、暗い林道を小走りで社有車へ戻る途中、草もしくは転石につま+C1:C38ずき転倒し、右足くるぶし部を骨折した。	27	30301	10～ 29
10	14～ 15	業務を終え、退社する際出口の階段を下りている時に、台風の強い風にとばされてしまい頭や手などを強打してしまった。	56	80209	50～ 99
10	8～9	従業員出入口にて、台風の影響で風が強く扉が押し返され転倒、右足を負傷する。	67	140201	30～ 49
11	20～ 21	店舗駐車場北出入口にて誘導業務中、凍結路面に足を滑らせて転倒した際に右手を地面に強く打ちつけ、激痛のあまり一時的にめまいを起こしたものである。めまいが回復した後も右手の強い腫れ及び疼痛が治まらず、勤務を早退し病院の受診に至る。	31	170201	100 ～ 299
11	15～ 16	お届け先に到着し、降車して後方ハッチを開けようとしたところ滑って転倒し、受け身で右手を付いてしまい打撲、骨折した。路面が凍結している事は把握していたので、足元には注意をしていたが、それでも滑ってしまい転倒した。	56	80209	10～ 29
11	15～ 16	整備工場から事務所（本社）に車で書類を届けに来た時、事務所駐車場に車をとめて、事務所玄関に歩いて向かう途中で雪山（凍った路面）に足を滑らせ転倒し、左上腕を強打して骨折した。	52	80204	30～ 49
11	14～ 15	山沿いの道路の麓に隣接した所に解体する予定の鉄骨倉庫、ビニールハウスが建っており、前に降った雪が溶け、その後寒さが続いたこともあり、地面が凍結し氷が張り付き滑り易くなっていた。現場作業の移動中に足元が滑り、背中と腰を地面に打ちつけ負傷した。	58	30209	1～9

11	7~8	出勤時、店舗敷地内の業者搬入口前において、凍結した地面で転倒し左手首を強打し骨折した。	62	80209	100 ~ 299
11	6~7	当該人は、構内の自家用車駐車場に車を駐車し、トラック駐車場へ向かう際に、構内で足を滑らせ、肩から地面に落ちて強打した。後日病院を受診したところ、脱臼の疑いがあるとのことだったが、別の医療機関を勧められ、紹介状をもらい翌日その病院を受診したところ、右肩鎖関節脱臼と診断された。	59	50101	100 ~ 299
11	4~5	新聞配達先において、朝刊配達中、車から降り左脇に新聞を抱えて歩いていたところ、配達先敷地内で路面凍結のため滑って転倒し、負傷した。	37	80205	50~ 99
11	3~4	新聞配達先個人宅において、朝刊配達中、新聞を配達して戻る際、5段ある階段の上から2段目で凍結のため滑って転倒し下まで落下して負傷した。	54	80205	50~ 99
11	17~ 18	日中の気温上昇で積雪が溶けたザクザク状態の路面を二輪車で走行中、T字交差点前で減速したところ雪にハンドルを取られ転倒した。左足が二輪車の下敷きになり、左足の甲を負傷した。	36	110101	300 ~ 499
11	17~ 18	被災者は、当社工場敷地構内において、米穀加工業務に従事していたが、歩行中に足を滑らし仰向けに転倒した際、後頭部を床に打ちつけ負傷したものである。	37	10109	50~ 99
11	15~ 16	新聞の配達を終え、次の配達先に向かう際、凍結した路面に足をとられ転倒し右腕を打撲した。夜になっても痛みが引かず腫れ上がってきたため翌日、病院を受診し、骨折と診断される。	69	80205	30~ 49
11	18~ 19	当社機材センターにて、当社所有の車から降りて自家用車に向かって歩行中、左足が滑って開脚状態となった際に、右足に体重が掛かり右膝を捻挫した。	69	30199	30~ 49
11	15~	退勤後、駐車場に向かう為歩いていたところ、道路が凍結していた為転	61	140201	30~

	16	倒した。その際右足を捻ってしまい右足首を骨折した。			49
11	14～ 15	事業所駐車場で社用車から降車し、事業所入口に向かって歩いていたところ、凍結路面で転倒し、股関節を強打した。一旦事業所内に戻ったが激痛が続いたため、職員に付き添われ整形外科を受診したところ、右大腿骨頸部骨折との診断を受けた。	54	130201	10～ 29
11	11～ 12	被災地へ到着後、車輛から荷卸しの為降車し、凍結路面で足を取られ転倒した。転倒の際、右肩を強打した。事後も業務を続けていたが、約2ヶ月経過するも痛みが取れず受診し、腱板断裂が発覚した。	54	11201	1～9
11	9～ 10	LPガス消費者先の保安点検に向かうため降車した時に、路面が凍結していたので足を滑らせて転倒し腰を痛めた。	42	170209	1～9
11	9～ 10	弊社の敷地内の除雪作業をしていた。作業を終わらせ、ショベルから降り、建物へ入ろうと走って向かったところ、除雪後でツルツルになっていた地面で滑って転倒し、骨折をした。	25	80209	10～ 29
11	8～9	自宅前に駐車してある車に出張時の荷物を積むために、荷物を右手に持ち車に近付いたところ、地面が氷状で滑り転倒時に左手をついて痛めた。	64	10105	50～ 99
11	8～9	前日の雪のため出勤時に現場敷地内の駐車場で滑り後ろへ転倒し、左肘を骨折した。	43	10103	10～ 29
11	4～5	徒歩で朝刊配達中、道路を歩いていたところ、凍結した路面で足を滑らせ、転倒し負傷した。右足を捻挫したが、最後まで配達を行った。	65	80205	50～ 99
11	13～ 14	場内を徒歩で移動中、雪で隠れていた凍結路面で足が滑り後方に転倒した。この時、体を支えるため左腕を伸ばし手をついた際、左腕を負傷した。	69	30199	30～ 49
11	9～ 10	約束のお客様宅北口玄関前を退出する際の事故である。玄関前の地面が凍結していたため、滑って後ろ向きに転倒した。足が滑り転倒したはずみで腰と手首を氷に強打し左手首を骨折した。左肘、左腰の打撲した。	69	90103	300 ～ 499
	9～	当社において敷地内の除雪作業中、敷地面が降雪により滑り易くなって			30～

11	10	いた為、足を滑らせ体のバランスを崩し転倒した際、右腕が体の下になり負傷したものである。	49	80202	49
11	9～ 10	出勤後、離れにある、施設事務所からホテル内に入ろうとしたところ、舗装されていない道路を歩行中、凍ったくぼみに左足を滑らせ、左足踵の骨を折った。	55	140101	50～ 99
11	7～8	出社時、施設内駐車場に車を止め、施設内に入る途中で道が凍結していた為、滑って転倒し、その際、腰及び脇腹を地面に強打し負傷した。	63	130201	30～ 49
11	3～4	夜間勤務を終了し、事務所から自家用駐車場に戻る途中で凍った路面で転倒し、右手首を痛めた。当日は様子を見ていたが腫れがひどく、翌日に整形外科に受診し、骨折が判明した。	65	40201	300 ～ 499
11	16～ 17	パチンコ店立体駐車場内にて7.5Fから除雪作業にて7Fへ移動したところ、2m程歩行し床（コンクリート）がブラックアイスバーンとなっているのに気が付かず、アイスバーンの上を歩いた瞬間体を捻りながら転倒した。右顔面擦り傷および右足股関節部恥骨骨折。	67	150101	100 ～ 299
11	14～ 15	当社の車庫において、トラックから降りる際、足を滑らせ右足を捻り地面に落ちた。その際骨折した。	52	40301	10～ 29
11	11～ 12	配達のため、徒歩でアパートに向かっていたところ、凍結路面で滑り、左足が取られて転倒しそうになり踏ん張った。転倒はしなかったものの、その際に左足首辺りに痛みがあり病院を受診した。左足アキレス腱断裂と診断された。	39	110101	500 ～ 999
11	7～8	自社の倉庫より荷物を積み込みトラックへ乗車しようと歩行中、路面に積もった雪に足を滑らせ転倒した。その際地面に頭部を強打した。	53	40301	50～ 99
11	5～6	歩道を歩行中、足を滑らせ転倒し、右腕を負傷した。	57	80205	30～ 49
11	17～ 18	夕刊配達中、転倒した。	68	80205	10～ 29
11	15～	現場配送時、現場外路上にて荷物降ろしのところ、凍結路面に足を滑ら	47	80109	10～

	16	せ転倒した。			29
11	14～ 15	園児宅付近において、園児送迎バス添乗業務中、路上が凍結していたため、足を滑らせ転倒し右手首を路面につき右手首を骨折した。	44	120109	10～ 29
11	14～ 15	訪問入浴介護の為、利用者様宅へ訪問時、移動入浴車から降り、両手に荷物を持って玄関へ向かう途中、路面が凍結しており、足元が滑り、前のめりに転倒した。右膝を強打し、アゴを擦り剥いた。	64	130201	50～ 99
11	12～ 13	就業場所にて巡回業務実施中、凍結路面で足を滑らせて転倒し、救急搬送されたものである。	59	170201	100 ～ 299
11	9～ 10	事務所2階入り口付近にて、被災労働者が廊下のコピー機に向かう際、清掃業者が床を水拭き清掃した後を小走りし転倒した。その場で動けなくなり、数分横たわった後、自力で着席し就業した。午後になり容態が良くなり、夕方体調が悪化し、社員2人同行して病院に連れて行った。	48	170209	10～ 29
11	6～7	骨材のストックヤードから下りた時、そこが凍っていたため、バランスを崩し転倒した。	59	10909	10～ 29
11	17～ 18	ガソリンスタンド内の給油場所において、車両停止用の白線の上に雪が被っていた。給油のお客様へ接客サービスをしている際、その雪を踏んで滑り、右手をついて転倒した。	57	80204	100 ～ 299
11	12～ 13	被災者が利用者様と脱衣所から浴室へ誘導する際に、その利用者様から、ホールから脱衣所に通じる出入口のドアを閉めるよう依頼された為、素足で出入口に向かったところ、出入口の手前のコンクリート床で転倒した。その時、体右側から床に転倒した。	50	130201	50～ 99
11	5～6	新聞配達時、ポストに配達を終え歩いて門を出たところ、道路が濡れ雪の状態ですり落ちて転倒した。右足が後ろに曲がった状態で道路に打ちつけ右足首を骨折した。	47	80205	50～ 99
11	0～1	業務のため出張しお客様を接待後、ホテルへ到着した。ホテルへ入場せず翌日の朝食を購入する為に近くのコンビニ（ホテルから約100m）へ向	47	80102	10～

		かっていたところ、路面が積雪アイスバーンの状態で足を滑らせて転倒し右脛骨腓骨骨折（2ヶ所）してしまった。			29
11	10～ 11	管理用通路付近にて、河川維持のため除草作業を行う。除草した草木を集めて作業トラックに運搬中に転倒し、腕を負傷する。左上腕骨大結節骨折と診断された。	44	30107	1～9
11	10～ 11	軽四輪で配達途中、配達先玄関の石段が凍結していたため、左端の氷と雪がある部分を上り玄関前に到着し配達を終え、乾いて安全に見えた左端から一段右足で下りたところ、足が滑りその場に転倒してしまった。転倒の際、右腕、肩、腰を強打し、右手首を骨折してしまった。	63	110101	500 ～ 999
11	13～ 14	新幹線高架下付近において空地除草作業の警備中、現場の移動で歩いていたところ、右足に草のつるが引っ掛かり、側の溝に転倒、右足大腿部を打ち負傷する。	63	30102	1～9
11	12～ 13	出勤し、駐車場から工場へ向かう際、近道を通っていた時に滑りやすい箇所があり、転倒してしまった。この時、体を支えようとして右手を強打してしまった。診察の話では右手首骨折と言われた。	62	170101	300 ～ 499
12	15～16	現場駐車場で駐車台数のカウント業務をしていた時、凍結したスロープを徒歩で下っていた時、滑って転倒した際、左手を突き、手首を痛めた。	61	170201	50～ 99
12	14～15	スキー場レストラン厨房のゴミ回収の際、通路に氷があったため、足を滑らせ転倒した。その際に左足を捻り負傷した。	67	140101	50～ 99
12	8～9	通勤途中、敷地内の駐車場から施設へ歩行中に、タイヤショベルの除雪が入った後の滑りやすい路面で足をとられ、転倒して左手をついた際に左手首を痛めた。受傷時は軽度の捻挫だと思っていたが、その後、痛みが増強したため病院に行き検査をした結果、靭帯損傷と診断を受けた。	44	130201	300 ～ 499
12	5～6	当社施設のベランダにて、干してあったまな板を取ろうとしていた。居間のドアを開けて右足を出した瞬間、ベランダが滑りやすくなっていたため転倒し、その際とっさに右手をついたため右手首を骨折した。	72	130201	30～ 49

12	16~17	要介護高齢者の利用者宅へホームヘルパーとして介護支援業務を行うため、利用者から依頼された買物を終えて利用者宅の玄関前に着いた時に、車から荷物をおろすため運転席から外に出たところ、凍っていた地面で滑り転倒した。その際に左上腕骨近位部を骨折した。	67	130201	10~ 29
12	5~6	会社敷地内の職員入り口前の路面が凍結していた為に足を滑らせ、転倒し左腕部分を路面に強打し骨折したものである。	56	80209	50~ 99
12	19~20	終業後、帰宅のためホテル社員通用口を出たところで、アイスバーンに足を滑らせ転倒し、臀部を地面に強打した。	74	140101	50~ 99
12	12~13	立体駐車場で誘導案内業務を行っていた。屋外駐車場の誘導業務を終え、駐車場管理室に戻るため、屋外駐車場からP3階へ下りる車路（下り勾配）の左側端を歩いていたところ、凍結路面で右足を滑らせ、右方向へ体勢を崩し、右手首を路面についた後、右肩も路面に接触した。右手首に痛みがあったため、当日に受診した。	73	150101	1000 ~ 9999
12	10~11	厨房内にて作業中、ホテル側から除雪作業をするのに駐車場に停めている車を移動するように言われて駐車場に行った所、道路がアイスバーンの状態だった為滑って転倒した。とっさに左手をつき痛みがあり、病院に行った所、骨折していた。	65	150101	50~ 99
12	8~9	ビニールハウスにて給水しようとしてハウス内に入ったところ、牛の水飲場が壊れていてその水が凍り、氷になっていて、その上に乗った所で滑って転倒し、左腕を打ってしまった。	59	70101	10~ 29
12	8~9	デイサービス送迎車準備のために外を歩いていたところ凍結した路面で滑って転倒した。腕に強い痛みがあり、その場から動けなかった為、駆けつけた職員が救急車を要請し、病院へ搬送された。	59	130201	10~ 29
12	8~9	出勤時に当社店舗駐車場を歩いていたところ、路面凍結箇所です足を滑らせ転倒し右膝を強打した。病院で診察を受け、全治3週間との診断であった。	43	80209	100 ~ 299
		前日からの泊まり勤務の際、勤務場所である水道局にて巡回警備中に、			300

12	7~8	敷地内車庫の前で氷に足をとられ転倒した。しばらく勤務したあと病院へ行き、右足首と右足かかとの骨折と診断を受けた。	70	150101	~ 499
12	4~5	新聞（朝刊）配達を終了し、駐車していた自家用車に戻って乗り込もうとしたところ、凍結していた路面で足を滑らせて左足首を捻った。そのまま帰宅したが徐々に左足首全体が腫れてきたので病院を受診し、レントゲンを撮り、骨折していることが判明した。	44	80205	100 ~ 299
12	17~18	帰宅途中、職場敷地内を歩いていたところ、雪の塊につまずき足を滑らせて転倒した。転倒の際、うつ伏せに近い状態で右肩と右腕を強く打った。当番病院を受診したところ、骨折と診断された。	64	130101	—
12	17~18	配達途中に、雪道に足をとられ転倒し、その際に花壇の杭がちょうど右の脇腹に当たり強打して骨折してしまった。	48	80209	50~ 99
12	15~16	美容室の屋根（高さ約6メートル）の雪下ろし作業中、足元を誤って落下し、腰部を強打し、受傷したものである。	57	50101	50~ 99
12	11~12	会社敷地内において片付け終了後、歩いて移動中に路面凍結にて転倒した。その際に左手首を負傷し受診した。	65	30202	1~9
12	8~9	事業所へ出社し駐車場に自家用車を駐車し、事務所にてタイムカードを打刻後、業務開始まで時間がある事と構内を除雪作業中だった為、一旦、自分の自家用車の所まで戻ろうと歩き出し、駐車場の自家用車付近に差し掛かったところで圧雪状態の路面に足を取られ転倒した。その際、左ひじを強打し骨折した。	59	50101	30~ 49
12	6~7	職場の店の前で、シャッターをあけたときにブラックボードが倒れてきて転倒した。路面は少し傾斜がある所でアイスバーン状態だった。	43	80301	30~ 49
12	18~19	構内において、被災者が20tの冷凍車の荷台から荷物を降ろし、作業を終えて約1.2m下の地面に降りた際に、地面の氷で足を滑らせ転倒し、その際に右肘を地面に強打して同部を骨折した。	49	40301	10~ 29
12	16~17	車庫新築工事の現場にて、脚立を使用して、金物部分の取り付け作業を進めていた。その日の作業が終了して道具の片付けをするのに脚立を抱	41	11209	1~9

		えて移動していたところ、地面との間一面に張っていた氷で足を滑らせて、脚立ごと転倒した際に肋骨を強打した。			
12	15~16	利用者様宅でホームヘルパーとして訪問介護をしていた。業務終了後、当法人の事務所へ移動するため地下鉄（利用者様宅より徒歩40分）に向かって歩いていた。歩いている途中、利用者様宅を出発して3~5分後、凍結し氷になった歩道の上に新雪が少し積もっていたため滑って転倒してしまった。	31	130201	30~ 49
12	11~12	当社敷地内において、お客様がいらしたのでお客様を案内した後、所定の作業場に戻ろうとして歩いていたところ、地面が雪で滑りやすくなっていたため、誤って転倒し、右足首を捻って負傷した。	57	150102	10~ 29
12	11~12	牧場の牛舎新築工事現場で足場の片付けをしている時、足元が滑り足場とともに地面に転び、左腰・右腕を地面に強く打ち負傷した。	42	30209	10~ 29
12	7~8	駐車場のアスファルトが凍結していた為、車から下りた際に足を滑らせた。その時に手をついて手首を負傷した。	71	10103	10~ 29
12	2~3	営業所にてカゴ台車をホームに降ろすため、トラックより降車し、後ろ扉を開けようと移動する際、暗く路面状況の判別がしにくく、アイスバーンの舗装と砂利の境目の下り傾斜で左足首をひねって転倒した。	63	40301	10~ 29
12	15~16	自社倉庫内で作業を終え、トラックに戻る際、足を滑らせ転倒した。その際に左腕を床に着いた為、腕に痛みが走った。腕がしびれ痛いので念のため病院へ行きレントゲン検査の結果、骨に異常はなく筋の痛みとの事だった。	47	40301	50~ 99
12	13~14	担当企業を昼訪問し退出する際の事故である。敷地内を歩いて移動中、雪の下が氷になっていることに気がつかず、滑ってバランスを崩し前のめりに転倒して右手を地面に強く突き、救急搬送された。傷病部位は、右手首の骨3本複雑骨折とヒビ1本である。	20	90103	10~ 29
12	13~14	業務中、屋内駐車場に駐車をして車から降りる際、コンクリートの床で、ブラックアイスバーンになっているのに気づかず、滑ってしまい、	50	80109	10~

		受け身を取れず、右肩から転んでしまった。数日後痛みがあったため病院を受診した。			29
12	7~8	出勤後、着替えを終え作業場へ向かう途中、屋外道路で路面が凍結していた為、すべって転倒した。その際に、右手をついて体をかばった為、右手首を骨折した。	58	170209	1~9
12	7~8	会社に出社し、駐車場にて車より降りようとした際、右足を滑らせて凍結していた地面に、右手をついて右手首に負傷したものである。	63	10102	50~ 99
12	2~3	スーパーの納品口にトラックを駐車し、通用口に向かって歩道を歩いていたところ、アイスバーンに足を滑らせ転倒してしまい、左足首を骨折した。	48	40301	10~ 29
12	16~17	落雪による米検査室の窓ガラス破損と飛散防止のため、コンパネを窓枠に取り付ける作業の際、穀粉砕機室内にあったコンパネを両手で持ち室外へ出たところ、屋根から落下してできた氷の雪山に足をとられ、転倒し左膝を強打した。	35	80401	10~ 29
12	15~16	新聞購読者宅に夕刊を配達中、路上を歩行中、除雪後のツルツル路面に足を滑らせて転倒し、負傷した。事故当初は大したことはないと思い診察を受けなかったが、症状悪化により、後日診察を受けた。	44	80205	50~ 99
12	14~15	物置に一時保管している食パンを取りに行く途中、地面の凍った所で転倒して、右手首を骨折した。	65	10104	10~ 29
12	11~12	会社の備品購入と郵便局に行った帰り、高層マンション沿いの歩道で、追い風がふき、3回転し地面に叩きつけられ、歩道から車道に投げ出され、向かい側の歩道まで飛ばされた。爆弾低気圧が来ており、駅前の街路樹が倒れたり、美容室の窓ガラスも割れるなどの被害も出た。高層マンション横の歩道でビル風も加わり、突風であおられた模様である。	24	170202	1~9
12	8~9	お客様宅前の路上において、商品を配達するため運転先から外へ降りた際、雪で足が滑ってしまい転倒し受傷した。	46	80209	10~ 29
		職員駐車場で車から降りた際に氷に滑ってしまい転倒し、左膝半月板損			500

12	7~8	傷となった。	39	130101	~ 999
12	7~8	フォークリフトのフォーク部分に乗り、70kgのステンレスの箱を引っ張っていた時に、フォークの爪の間から足を踏み外し、真下に落下した。落下した際に左手を地面についたときに手首を骨折した。	42	40301	10~ 29
12	7~8	厩舎から衛生室へ道具を取りに向かう途中、地面の凍結に気づかず、滑って転倒した。	27	70101	50~ 99
12	7~8	配送先の道路は狭く、前夜の雨の影響で圧雪がぬかるんでいたため、大きな通りにトラックを止め、手運び納品をした。納品が終わり車両へ戻る際、凍った轍状の路面で足が滑り後方へ転倒し後頭部を轍の氷部分へぶつけた。	40	40301	30~ 49
12	5~6	配達作業中、配達先のマンション玄関において足元が滑り転倒した際に、右手をついて負傷した。	76	80205	30~ 49
12	19~20	マンションの配達を終え、車両停車位置まで戻る際、凍結した路面に足を滑らせ右足首を捻ったものである。	49	40301	10~ 29
12	5~6	朝刊の配達中、客宅の玄関前の路面が凍結していたため、足を滑らし転倒した。その際、左足を階段に強打し、受傷したものである。	68	80205	30~ 49
12	16~17	仕事終了後、自家用車を停めている職場の駐車場で、滑って転倒し負傷した。	29	130201	100 ~ 299
12	13~14	コンビニで休憩をとる為、トラックを降りたところ路面が凍っており、一歩歩こうとしたところ転倒してしまった。その際、右手に携帯を握っており路面に右手の小指下を強打し骨折した。自分でただの打撲だと思いきその日は湿布を貼り様子をみたが、次の日痛みが増したので病院へ行った。	27	50101	30~ 49
12	8~9	工場外の出荷ターミナルにて、お弁当の積み込み作業中、凍った路面に足を滑らせ転倒した際、頭部を地面に強打した。	63	80209	100 ~

					299
12	4~5	朝刊配達中、凍結路面で滑り転倒し、転倒時に左手首を地面に強打した。そのまま配達を終わらせたが、腫れと痛みがあったため、受診した。	69	80205	100 ~ 299
12	21~22	事務所で駐車場に車両を駐車し、事務所に向かって歩行中、路面凍結により転倒して右足首を骨折したものである。	46	170201	10~ 29
12	7~8	事業所敷地内の除雪作業をしていた際、地面が雪のため、本人の不注意により、滑って転倒し負傷した。	36	130201	10~ 29
12	7~8	お客様駐車場で、車から降りて店舗に向かう際、雪道で滑って転倒した。転倒時、手をつき左手首を骨折した。	63	80209	100 ~ 299
12	6~7	大学敷地内の駐車場において、出社のため自家用車を駐車場へ停車し、徒歩で建物へ向かう途中、圧雪・凍結路面で足が滑り転倒し、尻もちをついた際、左手を負傷した。	66	150101	500 ~ 999
12	3~4	路上において、自転車を押して配達へ向かう途中、雪の盛り上がった所で滑って転倒し、その際に足首がペダルの下敷きになり負傷したものである。	76	80205	30~ 49
12	14~15	施錠をして、帰宅しようと駐車場へ歩行中、敷地凍結路面で足を滑らせ、足首を強く捻り転倒し負傷したものである。	51	40301	50~ 99
12	14~15	清掃を終え、センターハウスへ移動するため敷地内の屋外を歩行していた際、除雪車による除雪後の凍結路面で足が滑って転倒し負傷した。当初は就業していたが、痛みが取れないため病院に行ったところ骨折と判明し、休業する事になった。	60	150101	500 ~ 999
12	7~8	出勤時、店舗駐車場で、車から降りドアを閉めようとした際に、凍結した路面で足元が滑り転倒し、臀部から腰にかけて強く打ちつけた。痛みはあったもののそのまま出勤し作業に入ったが痛みが増したため早退した。その日は様子を見ていたが痛みが治まらなかったため翌日病院を	48	80209	10~ 29

		受診し、尾骨骨折との診断を受けた。			
12	20~21	帰宅時、就業先から自宅へ自家用車で向かうため、就業先ビル内の駐車場へ向かう通用口を出た際に、床が凍っていたため滑って転倒し、負傷した。当日は打撲程度で骨折とは思わず帰宅したが、翌朝、痛くなり腫れてきたので受診した。	39	170209	50~ 99
12	12~13	製造現場洗浄コーナーにおいて、機械部品を洗浄している際、水が溜まっている床で足を滑らせ転倒し、シンクに右脇腹をぶつけた。	26	10109	100 ~ 299
12	6~7	敷地内駐車場に車を止め、就業場所までの通路を歩行中、通路が積雪のため滑り、手をついたところ、右手を骨折した。	66	130201	30~ 49
12	9~10	給油所内で、計量機1番（レギュラーガソリン）に停車した車の対応のため、計量機3番（軽油）から、小走りで近寄った際に、計量機2番付近で転倒した。	28	80204	1~9
12	16~17	園児を送迎バスから降ろす際、地面が凍結していたため、足が滑り転倒した。乳児を抱えていたため、背中から地面に落ち、背中を強打し負傷した。	55	130201	10~ 29
12	10~11	当法人老人ホームでの会議を終え、敷地内に駐車していた車へ急いで歩いていたら、除雪したばかりの凍っていた路面で足を滑らせ転倒した。転倒した際に持っていた荷物を底おうと右手をついたところ、右手に違和感と痛み、また、右手首が動かなかったため、整形外科を受診し、右手首骨折と診断された。	55	130201	100 ~ 299
12	7~8	処理場の敷地内で仕事に入る準備のためトラック運転席に置いてある仕事着を取り、トラックより2歩歩いたとき、本人の不注意から、長靴をはいていたが、雪で滑り転倒し負傷した。	43	10101	10~ 29
12	7~8	出勤しようと停留所でバスを降り、当店の駐車場内を従業員入口へ向かって歩いていたところ、路面が凍結していたため滑って転倒し、右膝を打った。	59	80209	50~ 99

12	5~6	敷地内において徒歩で新聞を配達する際、傾斜の所がアイスバーンになっており、滑って転倒し胸を打ち負傷したものである。	70	80205	30~ 49
12	8~9	ブロイラー農場の給餌器、給水器の手洗い作業をしていた。1棟目の作業が終了し、次の鶏舎に移動する時に農場通路へ出た際、通路が凍結していたので足を滑らせ転倒した。	70	150109	10~ 29
12	6~7	出勤時、会社敷地内駐車場にて路面凍結の為、足を滑らせ転倒した。	66	140101	1~9
12	15~16	介護サービス利用者宅に到着し、利用者宅玄関に向かう途中、灯油配送車が見えたため、自車を移動しようと戻ろうとした際、地面がぬかるんでいたことから足を滑らせ転倒しお尻を強打した。その際、腰に痛みを感じたが、汚れた着衣を交換し、当日もサービス提供を行った。その後、腰に痛みがあるものの、所有していた痛み止めを服用しながら約1週間、サービス提供業務を行っていたが、朝、起き上がることが困難な状態となり、翌日病院を受診し、圧迫骨折と診断され入院した。	66	130201	300 ~ 499
12	8~9	出勤時、敷地内の駐車場から工場のある建物へ歩いて向かっている際、凍結をしている所で足を滑らせ転倒し、腰と頭を地面に打った。	60	10109	50~ 99
12	19~20	病院敷地内の職員通用口を出た所で、残業を終え帰宅する際、凍結していた路面で足を滑らせ尻もちをつくように転倒した。	31	130201	100 ~ 299
12	15~16	ピッキングセンターにおいて、商品の箱詰出荷作業中、別室作業の進行状況を確認しに徒歩で移動中、作業テーブルに貼り付いているクラフトテープの端が左足のズボンの裾に接着し、足がもつれて転倒した。その際、右足首を強くひねったため骨折してしまった。	63	10101	30~ 49
12	8~9	レンタカーのドアを閉めた時に、駐車場の路面が凍結していたことにより、ドアを閉めた動作に伴い滑って転倒し、左前腕を骨折した。	46	80409	100 ~ 299
		工場内駐車場に車を止め、事務所へ向かって歩いている時、路面が凍っていることに気付かず足を滑らせ右肘を着いて転倒した。その後、自分			100

12	7~8	で立ち上がり事務所へ入室したが、20分程時間をおいて置いてから右肘に違和感があり、コブの様に腫れている事が分かった。 ※病後、右半身が動き辛い状態で、災害発生時は杖を使用して歩行していた。	53	10806	~ 299
12	6~7	営業終了後、車庫棟3階で洗車拭き上げ時、移動の際、床の凍結で滑り転倒し、肋骨を骨折した。	69	40201	300 ~ 499
12	21~22	夜間の施設外回り巡回中に凍結していた路面にて足を滑らせて後方に転倒し、後頭部をアスファルトに強打し一時的に意識を失った。施設内のモニター監視を行っていた同僚隊員が転倒に気づき、現場に駆け付け、負傷者を肩で担ぎ施設内の警備室まで運んだ。そのまま終業時間まで休憩し、終業後に通院した。巡回中は、懐中電灯を肩からたすき掛けし、左手に持ちながら巡回していた。靴は革靴を履いていた。	69	150101	10~ 29
12	15~16	バイクで夕刊配達途中、道路（砂利道・積雪・凍結）にて轍で前輪タイヤがスリップしバイクが転倒し、身体は左前方路面に投げ出された。	63	80205	30~ 49
12	9~10	業務中、高所作業車がバックした為、急いでバック誘導しようと思い走ったところ、地面が凍結していた為転倒し、左鎖骨を骨折した。	64	170201	100 ~ 299
12	8~9	出勤時、従業員契約駐車場で凍結面で滑って転倒した。	34	140201	1~9
12	8~9	当社製材工場の前で、朝礼に参加する際、凍結した地面に足を滑らせて転倒した。	46	10409	50~ 99
12	8~9	被災者が勤務先に出勤し、敷地内にある駐車場に車をとめ、そのまま歩いて事業所の建物に向かう途中で、前日から降り続いていた雪で路面が凍結していて、そこで足を滑らせ、後方に尻もちをつく形で転んだ。その際に右手を地面に出したが、右手だけで全体重を支えるような形になり、右手首を痛めてしまった。	54	130201	50~ 99
12	7~8	出勤のため自宅を出て、職場である工場の職員駐車場に到着し、車を降り、前日からの雪で見えなくなっていた隣車との境界用の白線を確認し	56	150103	10~

		ようと足で路面の雪を払っている際に、凍結した路面に足を滑らせ転倒し、胸・腕・腰等を強打した。			29
12	10~11	会社所有の農場にて、豚にエサを与える為、外に設置してあるエサタンクからエサを一輪車で運ぶ際に地面が雪で凍っていて、バランスを崩し滑って転倒した。着地の際に、左足首から地面に着いて負傷した。	42	70101	1~9
12	7~8	荷卸先敷地内にて、荷卸し作業をする時に、自車（トレーラー）運転席から、前向きに地面へ降り立った際、両足を地面についた状態から一歩踏み出そうとしたところ、足元が凍結しており、バランスを崩して転倒した。（路面にうっすら雪が積もっており、その下がブラックアイスバーンの状態であった。）左手をついて身をかばったが腰も地面に打ったと思われ（尻もちをついたような姿勢）、被災後も作業運行を継続して会社へ帰庫し、帰庫後、同日中に病院を受診した。	41	40301	30~ 49
12	8~9	勤務先近くの駐車場に自家用車を止め、徒歩で勤務先への出勤の途中、勤務先構内に入ったところで凍結した路面により転倒し、右足関節を骨折した。	57	110101	100 ~ 299
12	8~9	会社駐車場から第二工場従業員玄関までの構内南側通路を走って出社していたところ、積雪・凍結で滑って転倒した。転倒後、再び走り出して再度転倒し、転倒した際に右後頭部を打撲した。なお、被災労働者については、転倒時、頭部を打撲したことによる記憶障害のために被災時の状況が曖昧なため、被災した状況については、転倒を目撃した従業員の証言によるものである。	47	11409	500 ~ 999
12	21~22	就業中、雪の濡れたコンクリート床で滑り、膝をつき転び、半月板を痛めた。	30	170209	10~ 29
12	20~21	営業所敷地内駐車場にて、トラックから降りる際、軸足を滑らせ転倒し後頭部を強打した。気温は低くはなかったが路面の一部が凍結し足を滑らせた。	33	40301	50~ 99
		仕事が終了し帰宅中、工場の玄関前で地面が凍結し、表面に少量の雪があった為に靴が滑り転んでしまった。転んだ時に手に荷物を持っていた			50~

12	17~18	為に地面に手をつく事が出来ずに頭部を地面に強く打ち付けてしまった。又、手も不安定な状態で転倒した為に左手肘を強打してしまった。	64	10209	99
12	9~10	建物敷地内の駐車場において、前日より降り続いた雪の除雪作業を行っている時、雪で滑って転倒し骨折した。	33	130301	1~9
12	8~9	取引先で荷物を積むために事務所まで小走りしていたところ、足元の鉄板の上に雪が積もっていた為滑って転倒し、後頭部と臀部を強打した。頭は痛かったが様子を見ていたところ、数日経過後に痛みが引いたので受診しなかった。数ヶ月後、足に力が入らない、意識障害など体に異変がみられ受診したところ、慢性硬膜下血腫と診断されたもの。頭部打撲はこの転倒以外にない為、被災当日に転倒し、頭部打撲したことが原因とみられる。	52	40301	30~ 49
12	8~9	就業場所の当社プラントに出勤後、作業準備を済ませ、作業場に向かおうと徒歩で当該敷地内を移動中、転倒により負傷したものと思料される。当時、地面には約10cmの積雪があり、その上でヘルメットを着用したまま仰向けに倒れていたところを現認者が発見し、直ちに救急搬送の上、当日の勤務時間中に病院を受診した。本人の注意不足による雪上歩行及び使用者側からの安全教育不足が当該事故の主原因と思料される。なお、失神の疑いもあるため、現在経過観察中である。	65	20209	10~ 29
12	1~2	センター内に於いて、被災者は清掃業務に従事中に、露天風呂に設置してあるテレビを消そうとして入口の戸外に出たとき、凍っていた床面で滑って転倒し右手を受傷した。	61	140309	50~ 99
12	8~9	通勤時に通用口から工場内に入ったところで強風で流され転倒し、その後、正面入り口のバリカー支柱に掴まった。立ち上がろうとした際に耐えきれず再度転倒し、道路まで飛ばされた。	51	11703	30~ 49
12	5~6	街中の配達を終え、次の配達場所へバイクで向かう途中、山に囲まれた坂道を走行中、突進してきてバイクに衝突したため、バイクごと転倒し、意識を失った。現場は暗く、バイクのライトのみで、バイクの存在	69	80205	10~ 29

		には気づけない状態であった。			
12	8~9	高速バス運行終了後、営業所へ入庫し、バス車内を清掃した。清掃後、バスの前扉から車外へ降りる際、凍結していた地面に足を滑らせ転倒し、左膝を捻った。	52	40202	100 ~ 299
12	9~10	交差点にて原動機付自転車運転中に降雪により、路面が滑りやすくなっていて注意はしていたがバランスを崩し、転倒したため臀部を強打したものである。	27	90101	10~ 29
12	5~6	朝刊宅配作業中、玄関入口前の道路凍結しており、滑って転倒した。その際、左足首を捻り負傷した。	63	80205	50~ 99
12	14~15	荷台上にて荷の積み込み作業をしていた。10t車の荷の積み込み状況を確認していた際、雪で濡れていた後方のアオリ部分に足を滑らせてため飛び降りた。着地の際にバランスを崩し転倒し、右太もも付近と右ひじを地面に打ち、打撲した。	59	40301	30~ 49
12	7~8	出勤し事業所敷地内駐車場に車を止め、厨房入口に向かって行く途中、融雪の水が凍っていた為滑り転倒し、右足首を骨折した。	73	80209	10~ 29
12	3~4	店に到着し、書籍4ケースを荷卸しようとしてゆっくりと車輛から降り、後ろの観音扉のほうへ移動する際、地面が凍結のためすべり、右足を骨折したものである。融雪の水が出ており、凍結しているだろうと注意していたが滑った。夜は、店が閉まっているので、周りは真っ暗である。	55	40301	100 ~ 299
12	8~9	卸売市場にて販売中に、床の氷に右足を滑らせ転倒し、後頭部を打った。	78	80109	1~9
12	18~19	お客さま宅へ小包を配達するため、スロープを歩行していたとき、左へ曲がったところが凍っていた。足を滑らせ転倒し、左下腿骨を骨折した。	49	110101	50~ 99
12	15~16	仕事が終わりに、帰宅のために店から出て、車に乗るときに店先の庭で雪のため滑って転び、手をつき骨折した。	70	11703	1~9
		終業後、施設を出て建物の北側にある職員駐車場に徒歩で移動中、降雪			30~

12	15~16	中であったために途中にあったコンクリート製の階段の1段目で足を滑らせて後方に転倒し、腰を強打した。	76	130201	49
12	14~15	管理用通路を移動中、雪により滑りバランスを崩し、通路上に尻もちをつき被災した。	47	30107	10~ 29
12	11~12	斜面の沢で、モノレールの撤去作業中、レールに沿って歩いていたが、斜面上の雪で滑って、モノレールの荷台とレールの間に足を挟まれ骨折した。	40	30108	10~ 29
12	14~15	生コンを打設する現場で、生コンを一輪車にて運搬中、運搬経路が圧雪され、下り坂で足元が滑り、一輪車とともに右側に傾いて倒れ、右足を被災した。	32	30309	1~9
12	0~1	給油後、SS内の洗車場で洗車の際、凍結したコンクリート地面で足を滑らせ、転倒したときに右肩を強打した。	46	40301	10~ 29
12	12~13	配達に行った際、地面が凍結していたため滑って転倒し、頭部を打撲した。さらに3日後、会社の前で荷物を積み込む際に、地面が雪のため滑って転倒し、再び頭部を打撲した。	84	80101	10~ 29
12	16~17	リフトの終点で監視の勤務を終え、次のリフトの終点へ移動中、滑って転倒した。	68	40101	10~ 29
12	8~9	スキー場付近で、運転するバスが道路上で雪によりスタックした。バスを復旧させる作業中、バス周りの圧雪された道路で転倒し、左腕を地面に打ちつけて負傷した。	41	40202	30~ 49
12	12~13	駐車場の看板を取り付けようとしたところ、風に煽られて転倒し、左足アキレス腱を切った。	57	140201	10~ 29
12	15~16	多目的室にて、入浴前後の男子利用者の管理中、ソファに並んで大人しく座っていた2人の利用者のうち、1人がソファから滑り落ちるような姿勢が低くなった瞬間、もう1人が急変し襲いかかるという問題行動に被災者が気づき、2人の間に近づいた。その際、頭をめがけて掴みかかる手を払いのけながら、姿勢が低い利用者に立ち上るよう、声かけしていた	62	130201	30~

		ところ、立ち上がる際にバランスを崩し、被災者を押すように倒れかかったため、被災者は背中から転倒し腰を打ちつけ、しばらく動けなかった。歩くことはできるが、立ち上りや咳で腰に響き、痛みのために腰に力が入らず、押す・引く・荷物を持ち上げるなどの動作ができない状態になった。			49
12	14~15	パチンコ店屋上で、アドバルーンを掲揚する作業を行っているとき、風が強かったのでバランスを崩して転倒した。その際、右手から先に地面についたため、右手首を負傷した。	62	80409	1~9
12	11~12	被災作業員は、事務所外柵工事中、作業員と鉄板を運んでいたとき、窪みにはまり転倒した。	36	30202	1~9
12	15~16	学児施設の廊下にて、見守り中の子供を後ろから抱えようとしたとき、子供の足が絡まり、後ろ向きに転倒し、動けなくなった。	59	130201	1~9
12	15~16	スケート教室で使用した用具を搬送するため、スケート場から駐車場に車を取りに向かう通路において、斜面を下る途中、雨に濡れた芝生に足を滑らせ転倒し、左上腕骨骨幹部を骨折した。	32	120109	10~29
12	14~15	被災者は、収穫作業中、用足し（大便）のため作業場所を離れた。その際、段差のある畦畔付近で転倒し、左脛と左肩に打撲傷を負った。	70	10109	1~9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_08.html